京城日報

十一日夕刊 (朝夕刊を併せて八頁)

○獨平和運動熾烈
攻勢失敗と汎獨主義者の沒落

獨國軍は目下西部戰線にて大攻勢に出つゝあるに拘はらず國內に於ける左黨の平和運動は未曾有の活氣を呈し穩和派の勢力日に加はりつゝあり若し今次の攻擊にして失敗に終らん乎汎獨主義者は一朝にして沒落し穩和主義者は是れに代りて優勢を持するに至る可しされば獨逸國民の多數は目下の攻勢が何れに結著するも平和を招致す可きものと信じ居れり(倫敦電報)

○陸戰隊上陸詳說
我陸戰隊佛國領事館を警戒

我陸戰隊上陸に就き浦鹽勞兵會よりの抗議に對し八日日、英、米、佛、支五箇國領事は浦鹽市參事會長を訪問し陸戰隊上陸は全く居留民保護の爲にて決して露國官民に抵抗するものに非ざる事を辯說せり猶我陸戰隊は佛國領事の依賴に依り六日より佛國領事館をも警戒するに至れり(浦鹽電報)

○張軍長沙へ出動

張奉天督軍は第一混成旅を出發せしめ續いて第二混成旅を八日出動せしむる筈なりしも編成及び軍需品配給等不完全なりしため其の出發を延期し十二日全部長沙方面に向け出動せしむべし(奉天特電)

○電氣協會總會

十日午後三時より朝鮮電氣協會總會を鳴門に開き役員選擧の結果會長元木副會長香椎源太郎氏當選終りて懇親會に移り盛會裡に同五時半散會せり(釜山特電)

○赴日記者團通過 赴日

支那記者團一行は十日夜北京發十一日午後七時三十五分奉天著同午後十時發安奉線にて出發せり旅程約三週間なりと因に奉天の有志は一行の爲めに大和ホテルに於て歡迎晩餐會を催ほし其の行を盛んにしたり(奉天特電)

●素晴らしい鮮滿の發展
眞野九大總長談

滿洲視察を了へ八日歸任の途に就きたる眞野九大總長は往訪の記者に左の如く語る

先づ自分は滿洲に這入ると一番に本溪湖を視察したが流石に大倉組の經營に係る丈け規模が雄大である併し產出額の少額は甚だ遺憾である、御承知の通り撫順の石炭は實に豐富なもので滿鐵の一大財源たると同時に

▲帝國の財源 と謂っても差支なからう、同地は一面に石炭を以つて層を成し露頭採炭法に依つて居る、次で奉天を視察し奉天病院赤十字病院等の規模の壯大に驚き而して後沙河口に著いたが同地の機關庫では目下安山站製鐵所用の機械製作中である、目下同鑛山は年額僅かに十一萬噸に過ぎぬが鐵層の豐富な事は驚く可きもので一億六千萬噸を有するとの事である今後同鑛の規模を擴張して一箇年百萬噸を採掘するも裕に百箇年を持續し得る譯で撫順と共に滿鐵の寶庫と謂ふべきである、又驚く可きは大連一圓に供給する水源地の宏大なる事である設計は

▲斯界の泰斗 なるカノン博士の手に成れるもので山と山とを堰き切りて一湖水を作り其の堤防の構造は網目を交叉し其の空隙にはアスファルトを塡充して伸縮を自在ならしめ激烈なる寒暑の差を防遏する仕掛となつてゐる大連では市街及び棧橋等を視察したが兎も角規模の壯大なるには一驚を喫した、旅順の戰利品陳列場工科學堂等をも觀たが工科學堂の設備は內地の大學に比し標本其他敎室も多數だ、それから朝鮮へ引返し慶尙南道晋里の我大學の演習林を視察した、演習林は二萬町步を有し今では雜木のみであるから之れを採伐して

▲木炭を製造 しつゝある近く農大設置と共に來年度より植林する筈になつて居る、朝鮮鐵道沿線の發展は素晴らしいものだが之れに反して奧地の交通はまだ完備して居らぬ、八日馬山著午前十一時頃三增府尹と共に鎭海に渡り東鄕將軍にも逢つたが要するに今回自分の旅行は大に得る處があつた(釜山)

◎朝鮮點呼實施

本年度より實施を見るべき朝鮮に於ける在鄕軍人簡閱點呼及び勤務演習召集に就ては未だ成文となり居らざるも近く決定の上陸軍省令を以て發表さるべしと

◎判任免官 調査局
十一日に七十二名

臨時土地調査局技術課の當事せる地形測量の外業は今回終了せしを以て調査局にては右外業に從事したる技手書記等判任官七十二人の免官を十一日發表せしが右の結果同局判任官定員六百零一人は五百廿九人に改めたりと

◎生牛續々移出

神戶組合汽船會社の日本海橫斷航路第一回航海船大保丸は城津より生牛百頭を內地に移送せるが更に第二回航に於て同地より生牛百頭を積載し內地に移入すべき豫定なるが第一回移送生牛の仕入地は城津、吉州、明川の三郡にして仕向地は福井、滋賀、兵庫、香川の各縣なり而して之の百頭の生牛は全部牝牛のみにして年齡は二歲以上六歲まで又た總價額は四千八百二十五圓なり尙ほ組合汽船にては今後も引續き多數移送すべしとの事なるが同地方に於ける生牛相場は俄然數圓の騰貴を來たし延いて北鮮各地の生牛相場に影響を及ぼさんとしつゝあり(淸津)

◎上海鮮銀成績

上海の朝鮮銀行支店は十日開店せしが其の第一日の成績に付鮮銀本店に達したる電報によれば十日は營業開始せり開店披露宴には日、支、歐人七十餘名の列席あり盛會を極む又當日の預金は總額五十七萬圓貸出し兩勘定六萬五千兩勘定十二萬餘圓なり

◎京城金融狀況

鮮銀調査三月中に於ける京城金融狀況を聞くに穀物輸出制限令の發表は鮮米輸出先の關係上米價に對して格別の影響なく

▲外米輸入稅 減廢說も亦外米產地の引締り或は船腹不足に伴ふ運賃の昂騰により相場に左したる騰動を見ず大豆は一般に在荷薄にして先高人氣の旺盛なると滿鮮輸送難釜山筋の買進み等に基き一時熱狂的暴騰をなしたるも下半月に入り漸く人氣冷靜に歸し反動的下押の步調を辿るに至れり綿糸布も棉商を入れて一層活氣を帶び買氣旺盛にして相當荷動活潑なるを見たり氣配依然强硬を保てり麻布其他夏向用品類は季節の進むに伴ひ相當需用あり且大豆取引の如き

▲相應活況を 呈したれば之等大豆買入資金の新規需要を相當喚起したるのみならず輸送力不足の結果は貨物に對する放資の回收を澁滯せしむる等諸種の原因は商業者を通じて資金の繰廻しに忙しく金融は稍繁忙の域に進みつゝ當月を經過せり

◎京城手形交換

三月中に於ける京城手形交換所の手形交換高は四萬九千九百九十九枚にして其の金額一千六百五十二萬九千二百圓にして二月に比すれば幾千の增加を示し居れり尙ほ一月以降の累計は十四萬百七十枚四千四百三十一萬八千三百圓なり

◎貴族審査委員會 十一日

十一日午前十時より朝鮮貴族審査委員會は總督府第一會議室に於て開催山縣政務總監不在につき李完用伯委員長代理として審査を爲し十一時過散會せり

◎朝鮮及朝鮮人の前途に就て
片山鮮銀理事談片

片山鮮銀理事を訪うて入京後の感想を叩く、氏の談片に曰く、まだ銀行で一瓦り行務の勉強をやつて居る最中だから取り止めた話しも出來ぬが、予は朝鮮及び朝鮮人の前途が其の施政にして適當ならんか頗る

▲有望な土地 であり又立派な人種であると云ふ事を感ぜざるを得ない、恐らく目下の進展し態で茲五年若くば十年を經過したら餘程產業の開發經濟力の膨脹を見るであらうと思ふ、何人も感じ何人も曰ふ事だと考へるが予は此の前の日曜に小閑を倫んで景福宮內の博物館を見て往年の朝鮮が美術に工藝に建築に如何に其の伎能の卓越せしかを痛感せざるを得ざりしが、今日の朝鮮人は近世に至り李朝の政治其の宜しきを得ざりし結果各方面の

▲能力は減殺 され消滅して居るやうであるが然しそれは、初めからの無能力者でなく各種の技能を受容し得ない假へば鑛床などゝ同一視すべきものに非ずと考へらる、鮮人を疲弊せしめ其の智能を幼稚にしたのが惡政にあるならばその覺醒を促し文明人としての素質を與ふるものは善政であらねばならぬ、朝鮮の土地を見ても內地の山形や青森邊の磽确な山野とは全然趣きが違つてゐるやうである、山も野も樹木や作物を成育さすれば十分成育するのに不自然な政治がそれを阻礙してゐたと思はれる、これ予の今後の朝鮮の開發頗る有望であらうと推する理由である、それには善政並に

▲資金の注入 色々な事を必要とするが要するに朝鮮の前途は洋々春海の如きものありと確信してゐる、更に京城の住心地も帝國大陸の首都として各方面共著しく內地化せるだけ予の如き殆ど內地に住でゐる樣な氣でゐる、外觀上の京城は道路の廣闊と銀行、會社等の建築整備と內地人の活動狀態などには少なくとも良い方面に於て予の意想外の點あり[illegible]質商內容等の問題は未だ窺知するを得ず

▲何等の意見 を述べ得ない、尙ほ遠からず手近な所より朝鮮內各地の旅行をして見たいと思つてゐる

◆腕の人力の人
金谷生

◆神戶は這回の戰亂により多數の成金族出いたし候、中には數千萬圓の富を贏ち得て三井、岩崎の壘を摩せんとするの快男子も尠なからず候、而して其の多くは何れも海に關係ある對外的事業者のみに御座候

◆鐘紡兵庫支店は原棉を印度、支那、米國により製品を支那、印度、南洋に輸出するもの、その壯々たる機械の響きの下に織手、紡績に努むる少女等の勞働は實に敬服に値し候、誰れか日本の婦人を無能呼はりするものぞ、參政權を叫ぶお婦達はなくも偉大なる日本の婦人のやさしき勞働は蓋し歐洲婦人以上のものならむと存ぜられ候

◆工場には目下六千人の女工あり(朝鮮人はなし)彼等の修養に娛樂に健康の爲めに會社の努力せるところは場內の暗見にも看取し得べくその食堂の整然たるにも菓子製造場の設けあるにも感ぜられ候殊に目下白米一升上二十二錢中十六錢下十四錢にて販賣しつゝあるは職工優遇の爲め一石につき四圓宛會社が損耗を見つゝあるものゝ由に候

◆殊に寄宿舍の二階には女工の手にする活花あり且つまた庭に佛壇設けられ候、此の佛壇の一事以て武藤氏の周到なる用意を察すべく滿鮮にても此の佛壇式のところ望ましく候

◆川崎造船所には目下一萬六千人の職工あり當時より米鐵禁輸により一時二萬人も稍々減じたるも猶ほ未だ造船所の好景氣を看取し得べく候、彼等は漸々たる機械の響き閃々たる鐵火の火花を浴びつゝ誇るべき日本の造船業に努力いたしをり候

◆ドックは昨年三萬三千噸の巨艦伊勢を進水せしめたるにても其の宏大なる設備を知るべく最近十二月に進水すべき九千五百噸の一汽船は會社のストック物とか聞き及び候

◆職工の月給は最低の三十七八圓より最高六七百圓を稱へ居り候これでは職工成金の稱呼も無理からず候、日本もいよ〳〵腕の人、力の人を要する時代と相成り候

◆終りに神戶の山腹祥福寺の禪堂は海岸居留地と面白き對照にこれあり候、造船所の壓搾空氣の響きと落花寥の如き禪房の苦行若し夫れ神戶人士が此の兩方面を兼行するものとせば何よりも〳〵幸福千萬の儀と存ぜられ候

◆下關よりの沿道は靑き麥隴の眺めと櫻花、椿の滿開なり、美はしき日本の春は今正に闌に御座候草々(六日神戶にて)

◎豫算府稅附加稅 京城

京城府に於ける府稅附加稅は從來市街地稅附加稅本稅一圓に付二十五錢家屋稅附加稅は本稅一圓に就き五十錢を徵收し居りしが本年度よりは市街地稅附加稅を本稅一圓に付三十五錢、家屋稅附加稅を本稅一圓に付七十錢を徵收する事に決定せるが這は決して附加率の增加を意味するものに非ず現行附加稅賦課徵收條例第一條『附加稅は左の課率の範圍內に於て每年度豫算に定むる課率に依り本稅の負擔義務者に賦課す即ち市街地稅附加稅本稅一圓に付卅五錢家屋稅附加稅本稅一圓に付七十錢』とあり即ち從來は附加稅課率の範圍を縮少して適用せるものを今回始めて之の課率の範圍を附加稅條例に規定する限度に於て適用するものなりと尙ほ公立普通學校費用は市街地稅に在りては本稅一圓に付其の百分の十を家屋稅に在りては本稅一圓に付其の十分の一を徵收すること、なりたり公立普通學校費の膨脹せるは全く學校の擴張と敎育の改善を意味するものなりと府當局は語れり

◎學校組合會議期 新設

小學校敷地龍山漢江里の實地調査を爲せる組合委員は引續き十一日委員會を開會せるが委員會修正案の報告に據り大正七年度組合豫算其他附隨事項の確定に關しては來る十三日午後一時より組合會議に於て本會議開會の事に決定す

◎林業組合記念植樹

鮮貴族林業組合苗植圃にては來る十三日の第二土曜日をトし京畿道始興郡冠岳山同圃事業區內に於て第三回記念植樹を爲す由なるが同日午前十時三十分黃金町朝鮮貴族會集合同十一時自動車にて出發し正午記念植樹を擧行し午後一時食事同三時事業地及び苗圃視察を了し同五時歸路に就く筈なりと

◎螺鈿漆器實習所 東洋興業

東洋興業會社にては今回螺鈿漆器實習所を新設し金成圭氏所長と成り木村中央試驗所技師を顧問とし櫻井五郎氏に敎習を囑託することゝし來る十四日長沙洞同實習所に於て創立式を擧行する筈なるが同所は修業年限を六箇年とし徒弟二百名收容の豫定なりと

◎赤十字參列團發期 日

日本赤十字社總會參列を兼ね內地視察の爲め東上すべき職員社員有志の一行は愈々來る二十七日午前八時四十分南大門驛發(湖南線より參加の向は大田驛乘車)先づ大阪京都の各要所を視察の上東上五月十日歸鮮に決定せしに付參加希望者は準備の都合あるに依り此際至急申込むべしと

◎鮮滿視察團 日程

東京本鄕聯隊區司令部員陸軍步兵少佐子爵西四辻公堯氏指導の下に上長官三名士官二十三名及び下士一名合計二十七名より成る滿洲戰跡及び朝鮮視察團一行は十三日東京出發滿洲各地を視察の上二十九日京城著入京の豫定なるが其の日程左の如し

▲十三日午後七時三十分東京發▲十九日神戶出帆二十二日大連著▲二十三四日旅順附近戰跡視察▲二十五日遼陽附近視察▲二十六日撫順炭坑視察▲二十七八日奉天附近戰跡視察▲二十九日午後七時三十分京城著▲三十日一日京城及び仁川視察▲二日午後七時五十分京城發釜山に向ふ

◎入京後の赴日記者團

赴日北京記者團一行十九名は既報の如く十二日午後七時三十分南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに一泊十三日午後七時五十分南大門驛發列車にて出發東上すべし

▲入京中の動靜

北京記者團一行は南大門驛著と同時に京城記者團の出迎を受け直に同記者團の用意せる數臺の自動車に分乘同夜花月に於ける鮮銀主催の歡迎宴に臨み十三日午前九時より京城記者の案內にて總督府に抵り長谷川總督に敬意を表し其れより倭城臺公園に登り京城市街を展望し更に昌德宮總督府醫院工業專門學校等を順次巡覽し午後零時三十分より山縣政務總監の名を以て開催さる朝鮮ホテルの午餐會に臨み散會後更に朝鮮銀行京城日報其他を視察し別項記載の如く同夜發の列車にて東上の筈因に以上市內の巡覽は時間の都合に依り變更するやも知れずと

▲朝鮮ホテル午餐會

總督府にては山縣政務總監(不在)の名を以て十三日午後零時三十分より朝鮮ホテルに於て午餐會を開催し同時に北京記者團一行を主賓とし京城記者團の主なる人々をも招待す可く總督府よりは宇佐美內務長官、荻田總務局長、久水外事課長、武官等列席す可し

◎永沼中將著期

滿鮮在鄕軍人狀況視察の爲渡滿目下滿洲各地巡遊中の在鄕軍人會理事永沼中將は十九日頃入京の筈なるが京城に於ても講演會を開催す可しと

◎立花師團長歸任

師團長會議列席の爲め東上中の第十九師團長立花中將は來る二十日龍山著歸任の豫定なりと

◎松永道長官視察

松永京畿道長官は道勸業係主任今村事務官地方係主任山內書記の三名を隨へ抱川郡管內治狀況視察の爲め十一日出發十二日午後歸任す可し

◎支那文藝講演

十一日午後七時半より京城俱樂部に於て總督府囑託今關天彭氏は支那最近の思想を論ずる講演をなすべく同氏の支那文藝十講々演會は之を以て了とす

◎コークス一手販賣店變更 京城

京城三和會社製コークス一手販賣店は一時越野商店なりしも再び旭町一丁目橫山屋及び戶澤商店の二店に指命せられたりと

人事消息

▲森寬太郞氏(土木局平壤出張所長技師)八日附京義線工事施行中に道路敷地事務打合の爲黃海道金川海州兩郡に出張を命ぜらる

▲小野義雄氏(總督府技師)十日附を以て電氣設備に關し取調の爲め東京に出張を命ぜらる

▲兒島高里氏(總督府技師)十一日附を以て大阪京都兩市に出張を命ぜらる

▲宮崎又次郎氏(江原道第二部長)十一日朝入京不知火へ

▲島村三愛氏(遞信部員)十一日退京

▲井上正受氏(鮮銀營業部長)十一日午前八時四十分南大門發列車にて東京に向へり

臥床閑話
蒼洞病客

○獨墺兩國にては、重要なる御前會議を開會せりと報ぜらる。もより其の議する處は、窺知するを得ざるも、戰爭繼續の打合せか、講和提議の協商か、將又對內策に非ずんば、對露政策に就てか。

○之れを講和提議の協商となさば、先づ講和に對しては、今回大戰亂勃發の、責任者を明になさゞるべからざる也。由來其責任に就ては、獨逸は其の責任を英國なりと稱し、自國は止を得ざる、防禦的の奮起にありと、臆面もなく世界に公言しつゝありし也。獨逸政府は一般に對して、今回の大戰を惹起せし地雷火を敷設せるものは英國にして、實に當時の英外相サー、エドワード、グレー其人なりとの意見を抱懷せしめし也。

○果して大戰の責任が、英國に存在するや否や。獨逸の公言が、果して的確に其事實を證明するや否や、今本件に判斷を下さんとする者は、先づ獨逸外交に就て、一考を要すべし。

○獨逸の外交に對しては、所謂普魯西一派の、辛辣なる外交手段のある事を、決して見逃すべからざる也。而して其の所謂普魯西一流の外交の、眞相を捕捉するには普佛開戰當時の、獨逸外交を見るに、如かざる也。

○千八百六十六年の戰役に於て普魯西は墺國を獨逸以外に追逐せるも、尙ほ其統一を完成せん爲には、勢ひ佛國と開戰し、其戰勝の餘威を驅て、南方獨逸に臨むの必要あり。同時に、千八百七十年は、普魯西に取りて、最も開戰の好期なりしと雖も、當時佛國にては、ナポレオン三世の勢威隆々たるものあり、如何に開戰を希望する獨逸とは云へ、之には何等かの口實を作るべからざるに至れり。茲に於てか即ち、彼のビスマークの辛辣を見るに至りし也。

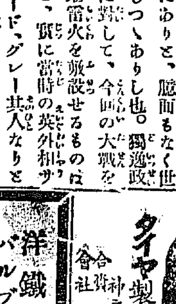
▲廣告▼

職業 日韓專賣特許 東京市本所 上田總本店

各種石鹼輸出問屋 大橋商店 京城本町一丁目 振替三三三

購買 陸軍倉庫 相成度御申越し次第直に送付す

種子 蔬菜 西宮 攝津 株式會社大正園 ダリヤ 菊 朝顔



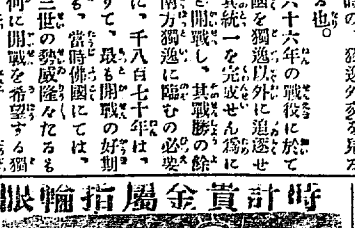
タイヤ製造卸 薄利多賣 合資會社 神戶タイヤ商會 神戶市元町六丁目

洋鐵 鋼材料 バルブ工具品類 鑛山用品 一般工業用品

瓦斯管

カナエパッキング會社代理店 合資會社 南方商店 京城南大門通二丁目 電話一九六八 振替一三四九

時計貴金屬指輪眼鏡商



地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目 京城銀行前 三浦天龍堂

十一月一日現行 (時刻表)

浦鹽の日本小學校(上)

日清戰爭の當時創立 校舍も立派になつた

始めは寺小屋式であつたが通學兒童の增加に連れて輙今では

▽一時平凡 過ぎる位靜穩を極めた浦鹽も、今度の邦人慘殺事件から陸戰隊の上陸で更に新たなる注意を喚起するやうになつたが、此浦鹽に兎にも角にも『日本人町』なるものが出來たのは明治廿七八年の日清戰役前で『鷄の林に風立ちて……』と云ふ頃には

◆もう日の丸の國旗がヒラ〳〵と浦鹽港頭に飜つて居たのである、或る民族が海外に移住して最も胸を痛めるのは愛する子供の敎育で、周圍が周圍だけに一層其民族特有の敎育を授けようとの念が旺んになる、そこで先づ始めは其愛する子供が學齡に達すると遙々共本國に送り返すのが順序であるが、軈て多少でも同族の集團が出來、歷史が出來てくると其處に

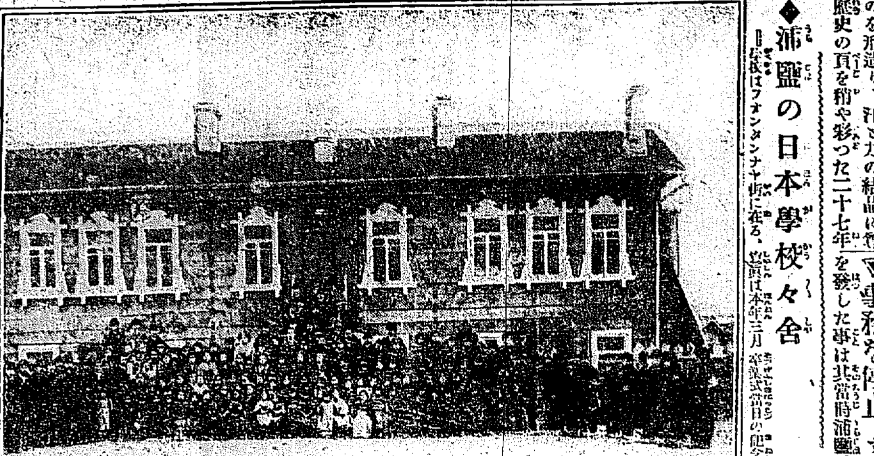
▽純然たる お國風の學校が生れるものである、手つ取り早く言ふが浦鹽に日本小學校が出來たのも多少の同胞か細長い浦鹽の一角に兎にも角にも『日本人町』なるものを形造り、汗と力の結晶に稍い歷史の頁を稍や彩つた二十七年頃である、然し其頃の事だから學校とは云ふもの、無論寺小屋式

◆小學校が始め本願寺 朝鮮の多くの厄介になつた如く浦鹽の小學校も亦本願寺の宗敎的威力によつて體現したのである、當時は敎育費の如き悉く有志者の寄附に仰いだものであるが三十五年敎務を我當局事務館內に移すことになつてから之を居留民會で負擔することになつた、此時兒童數は

▽僅に五十 名、夫れが四十一年には六十二名となり四十二年には八十九名となり、更に大正元年には百廿名に達した兒童數の增加を通じて邦人發展の跡も讀まれるが、お蔭で敎場は年每に狹隘を感ずるやうになり貿易事務館から間もなくカソイベレウローク街へカソイベレウローク街からフオンタンナヤ街五十八番地へ轉じ今では同じ街の十九番地に『日本尋常高等小學校』と

◆懷しき門標を掲げて居る、敷地總坪數二百六十五坪、此中百七十坪が運動場八十五坪が敎室になつて居る、敎室は木造ではあるが兎にも角にも校舍らしい體裁、露西亞式の頑丈な處が取柄である、現在の兒童數は三百名、三十五年の五十名に比べると恰度六倍になつた譯で非常な激增と言はねばならぬ、若し其間に日露戰爭が勃發せず邦人の

▽飛躍活動 に一頓挫を來たさなかつたならば兒童數もモツと驚くべき數に達して居たかも知れぬと云ふ者がある、或は然うかも知れぬが十六年間に六倍の增加は海外どしては實際異常と云ふべきであらう(西村生)



◆浦鹽の日本學校々舍 (校舍はフオンタンナヤ街に在る、寫眞は本年三月卒業式當日の記念撮影)

電信手のない浦鹽電信局

◆この頃漸く開通 ◇技手を追拂つて◇から後任がない

京城郵便局で手古摺つた話

▽事務を停止 す可き布告を發した事は其當時浦鹽電報として本紙所報の如くであつたが此の浦鹽電信局は過激派の占領する處となり去月二十五日同派委員會は同日午前七時より一切の電信停止期間は三十日迄續いた從て京城浦鹽線は其間不通の狀態にあつたのである之れに就て服部京城郵便局長は語つてゐる『此の電信不通の狀態は普通のものとは異つてゐる線に故障があつたが爲めでは無く勞兵會の浦鹽電信局占領と同時にその電信手が

▽勞兵會の爲 めに放逐されて技術者の居なかつたが爲めである、漸く三十一日になつて向ふから發信があつたが佛語の符號を用ひず露語らしい符號なので本局でも判らない其旨を云つてやると漸く佛語で打つて來たがそれは

▽前任者の拵 へて置いた符號を其儘機械に掛けたのであつたさうな其後多少判る者が出て來る樣になつたので今では辛じて通信をして居る樣な狀態だが色々と新技手に機械の上で聞いて見ると勞兵會は電信局占領と同時に技手を追拂つて了つたが後任の電信手を得る事には困難した有樣で

▽今の電信手 もブラゴエチエンスクから來た者だと云つてゐるが西伯利の狀態等に就て質問すると遉がに一語も答へて來ぬ、浦鹽京城間の電信は料金の國際協定の關係上每日發信濟信の字數音信數を照合し一箇月目に計算する事になつてゐるが

▽新電信手に なつてから一回もそれをやらぬ此方からは每日嚴重に催促してもそんな事よりも未だ外に手の付けて無い仕事が聞へて居るからまたにして呉れと云つた風で二月分の計算が今に出來ぬ、之れには全く困つてゐる』

ワイルス病の疑あり

京畿道龍仁郡內面陽智里松井梅吉(三〇)は三月十九日發病同郡水餘面金春澤方朱桐根(三)は三月十七日發病四月五日死亡同人妻嚴姓(三)は三月廿一日發病同人長女金成玉(?)は三月廿日發病又京城漢江通十一番地堀田重助(二九)は三月三十日發病四月五日死亡せるが以上五名は何れも熱性病にして公醫診斷の結果再歸熱の疑ある旨診斷されたり

手術中死す

青野醫師の處爲事件となる

忠南論山郡江景面北町井上重太郎の悴一郎(一〇)は三月初めより足部に痛みを受け同月十五日江景面町の開業醫青野英太郎氏(三二)に診察して貰ひし際關節炎と診斷し爾後同醫に就き治療を受け居るも別に輕快の兆も見えず時に發熱して足痛激しく食欲進まず身體

◆衰弱する より實父は三月二十四日同地の開業醫江景病院事務鈴木茂三郎氏方に一郎を連れ行き鈴木青野兩醫師立合ひにて診察を受けしに遉同は骨膜炎に依り化膿し居り同時に股下性膿炎を併發し居ることを發見したるより腫炎患者に對して

◆手術を行ふ は元來危險なるも其の膿瘍を排除せざれば膿毒症を併發して生命尙危險に陷ることを診斷されし爲め翌二十五日午前十時頃鈴木醫師宅にて家人及び知己等も立合ひ相談の上右大腿部を

◆深さ骨膜 に達する程度に取り去るだけの小手術を施すこと、なり鈴木醫師は心臟部の保護を受持ち、青野醫師執刀の下に患部の切開手術に著手せり、然るに青野醫師は最初患部なる右大腿部の外側に一刀三、四仙米許り手術を加へしより鈴木醫師も意外の荒療治に驚きたるものか『靜脈を避けよ』と注意したるも青野醫師は應せず續いて又一刀幅三、四仙米程切開したる爲に動脈に觸れたるものか俄かに出血あり患者は非常に衰弱し見る〳〵土色となりたるより居並ぶ人々も甚だ憂慮し居れるに青野醫師はコレは反面に對孔を要するを以て今一箇所切開すべしと言ふより鈴木醫師は危ぶみて注意を與へしに

◆大丈夫と 稱し三度目は內側に幅二、三仙米位の對孔を穿ち手を差入れて骨膜の化膿物の掃除中一郎は遂に絕命せり爲めに青野醫師の處置は目下事件となりて江景警察署にて取調中なりと

花嫁花聟

新畫の賣行がよい

栖鳳の尺五實に二千五百金

◇軸物は大きなものが流行◇

洋畫は小さく綺麗で心持よいのが歡迎される

世間の景氣の働き方は妙なもので近來羽根の生えたやうに盛んに新畫が賣れる、兎に角都會でも地方でもドン〳〵新しい富が生れると共に、生々した

◆新畫が歡迎 される樣になつて來たのは面白い、老大家として東京に廣業、玉堂、京都に栖鳳、景年、これ等は言ふ迄もない事で、殊に雀一羽一千兩と謳はれた栖鳳の薔薇三四輪に虻一匹を飛らせた尺五物がつい最近に金二千五百圓で飛んで終つたと聞いて、馬鹿々々しい値段だと怒つたやうに言ふものがあるが

◆何としても八ヶ間しい のだから仕方がない翠雲の南畵亦以上四天王の壘を摩す許り、先生は夜だけしか描かないので有名だが、恐ろしく健筆だから此れを償ふに充分だとの事だ京阪方の櫻谷、契月は動かぬ處として麥僊、溪仙等は何處でも評判が好い夫から注目す可は院展派の

◆人氣の絕頂 に達してゐる事と、金鈴社同人の頗る重きを成して來た事とである、院展は其の自由清新な畵風が漸く世人に呑み込まれたので、自ら進んで時流の好む所に投するやうな傾向のあるのと、兩々相俟つて斯くは致すのだと解される、金鈴社は同人同志互に勵ましあつて勉强する丈けあつて、今や儼然たる權威を得て來た靈華、映丘、百穗等の

◆人氣は益々よい 金鈴社同人の中では美人畵の清方が最も多く描いて多く賣れるといふのは無理のない處であらう、大きさは尺八物と尺五物とが多く出るが、近頃おしなべて軸物が大きくなつた事が著しい一間の床にも尺八物を掛けて、不思議とも何とも思はぬやうになつて來た、從つて又双幅よりも一幅で大きい方が喜ばれるのは勿論だ 移つて

◆洋畫の景氣 を窺つて見ると、日本畵ほどには行かぬとしても段々賣れる樣になつて來たのは大きな事實だ、さうも日本間には大きい油繪は向かぬと見えて小さく綺麗で心持のよいのが歡迎される、中澤弘光、吉田博、水彩畵の三宅克己などはこの意味で元老株、此の間も新潟の某富豪から吉田畵伯に向つて、お禮は幾らでもするから至急新潟名所を描いて呉れとの賴みに、畵伯は早速新潟に行つて小さなカンヴスに信濃川に架する萬代橋の

◆スケツチを試みた そしてその價三百圓、某富豪もさすがに驚いたさうである、不折は洋畫よりも南畵で賣れてゐる、小寺健吉、大野隆德、鈴木秀雄の諸君も見て感じの好い綺麗なのを描くので近頃中々評判だ

遠地の地震

(南西方百五十哩地點)

四月十日午前十一時五分三十秒に始めて稍大なる地震波動を地動計に記錄せり其の最大動は一粍以上に達せり尙推測震源地は仁川より南西方約百五十哩の地點なるべし(仁川觀測所報)

電車にふれて 少女轢死

黃金町四丁目

▽子供に注意せよ 十一日午前十一時半頃京城黃金町四丁目電車十一號電車が黃金町四丁目電車交叉點より約半町程進行したる折しも年齡七歲位の朝鮮

▽少女 が線路を橫切らんとしたるが驚愕の餘りにや前後の差別もなく救助網に掬はれて救助網より西の線路上に轉び落ちたるため何かは以て堪る可き運轉手が必死となりてブレーキを掛たるにも拘らず遂に車輪の下敷となり五體を

▽壓潰 され五臟露出して見るからに酸鼻の慘死をなしたり之れがため附近は見物を以て埋まり電車も一時不通となりたるが約半時間の後辛うじて單線往復にて運轉し

▽二時 頃漸く取片附たり運轉手李佐錫(三)車掌鄭詳同(三〇)は現場より直ちに引致せられたり被害者の姓名は取調べ中なりしが父母とも覺しき者狂亂の體にて慟き悲しみ居たるは悲慘なりき

市長選擧參謀召喚

京都瀆職事件に就き大野市長選擧參謀たりし大釋善助氏も召喚せられたるもの、如し(京都特電)

◉本能寺婦人會(水槽邊) 本門法華宗大本山本能寺所にては十二日午前十一時より婦人會例會ありて如昌課師の法話ある由

日時 來る十四日(日曜日)雨天廿一日
場所 京城奬忠壇入口 海市商會工場
◉漢陽高麗燒倉さらへ
獨特の珍品加へ大見切り
今や遼麵の花は眞盛り
早朝より御散步旁々御光來を乞ふ

讀者文藝 (一等には五十錢の書籍券を呈す)

▲筱める

〇白鳥(一等) 慶北忠州仲之町 中島淸風

作仲 大田吉田生 京城翠松、黃海道伊藤生、京城つれ〳〵、京城中天、仁川松洞、京城松浦生、同白岩生、仁川いせ胡、

次回課題

大阪正米 十一日後場 [illegible]

十四錢と三錢に寄付二錢二節二三錢を持合ひ一節大阪後寄安ら[illegible]

仁川米豆取引所 十一日の六月限 [illegible]

◉連絡船上陸客 十日午前 釜山入港近廻丸二三等客 [illegible]

課題募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚每に一題又は二題を記し其外に住所氏名明記の事 [illegible]

天氣 晴れ (十一日午後六時迄) [illegible]

商況

兵庫期米 十一日前場 寄付 二十六圓[illegible]

東京切米特電 十一日後場 二十六圓三十一錢

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

雜報

◉綿糸布反撥す 過般の四百圓崩落より弗々又奔落を續けし三品相場も昨今は[illegible]

◉俄然大反撥 跡更に高く約十圓高 先八十

一圓二十五錢

◉絹布は龍し 十一圓十錢 三銘十一圓二

十五錢

◉錫更に昂騰 一百四十圓に躍進 上餘地

◉染料は好調 品薄の物は引續き 高値の硫化染料

◉蒟蒻粉暴落 相場又復四圓方の崩落

◉新茶前氣配

◉南大門の廻穀

◉總て持合の域を脫せず

◉石油値上げ 二十五錢の値上發表

◉金巾類睨合ひ

二百九十四圓に墜落 漸く崩れ足を踏め

◉正米氣配焦付

◉內地豆類軟調 小豆 双方機待 色豆

下關相場

仁川正米

釜山穀物(十日)

仁川期米

十一日前場(强硬) 十一日前場寄付 圓十八錢と二十二錢高 七錢を强硬の成行

希望 玉を利喰 解合に全部の買

優勢買に俄然强硬の成行

市場雜觀

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎

仁川米豆取引所仲買人 園仲買店

田中金兵衛商店

仁川米豆取引所 十一日の六月限

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金谷田仲買店

△十一日保場
大阪前止め二十五圓八十八錢後寄二錢二節二十二錢三錢二錢三節四
末常當地當中出來不申先廿二圓二節二十三錢二錢三錢
△先限一節二十二圓二十四錢三錢
平均 一節 二節 三節 四節

大連より

○滿鐵の對朝鮮炭價値下問題は久しき懸案なりしが都督府よりの交渉もあり且つ鮮鐵との關係上打捨て置く譯にも行かざる爲め此の程撫順販賣部の谷川京城出張所主任も會同し協議の結果朝鮮に對する石炭の價格は現今以下に引下ぐる事は不可能なるも運搬法を改善し幾分にても低廉なる石炭を供給する事と成れり

○右に就き滿鐵當事者は曰く此の結果朝鮮に於ては從來より一噸に就き新義州にて三圓、平壌にて二圓五十錢、京城にて一圓五十錢の引下を見るものなるが尤も釜山元山等は遠距離の爲め從來の炭價と左して變りなき事となれり

○此の値下げ方法と其の値下額とは固より朝鮮側の期待する處に及ばざる事遠かるべきも之れ亦事情止むを得ざる者として此邊にて滿足して貰ひたきものなりといへり

○運搬法の改善は從來の如き不統一を改め朝鮮の需炭を四十三萬噸として其の運搬の距離を計り釜山地方需要の分には内地炭を渡し仁川及び其の地方に於ける需用炭は船便の都合を以て五萬噸の内撫順炭三萬噸開平炭二萬噸を供給し殘り三十五萬噸は陸路輸送として安東縣にて朝鮮側に引渡す事となれり之邊は滿鐵當事者の最も意を用ひて苦心せる處なりと稱し居れり

○たゞ冬期石炭需要の時期に當り陸路運送の大部分が遺憾なく輸送せらるゝや否や多少の懸念なき能はず滿鐵當局者も此の邊を考慮し朝鮮線各地の貨車繰りに就き相當の方法を執る筈なりと語れり近來鮮鐵の走行哩數激増し猶且つ各驛滯貨に苦しむ狀況に在るは主として船賃暴騰の爲め鐵道に由りて釜山の如き遠距離の輸出港に出廻る貨物著しく増加したるに起原するものを認め今後當面貨物は成るべく近距離の呑吐港に搬出せしむる方針を取り以て貨車の配給を圓滑にする方針なりと

○此の外猶滿鐵會社にては在朝鮮の電氣、瓦斯、水道、各種工場其他公共的事業に對しては特に便宜の方法を執り其の需炭の缺乏等なき樣に取計ふ方針なりとの事なり

○斯くの如くして朝鮮内の滿鐵販賣所が會社の意を體し小賣商人等をして此の間に乘ずる事無からしむれば朝鮮に於ける賣炭を一手に收め滿鐵賣炭の基礎確立すると同時に朝鮮に於ても亦石炭の供給及び炭價の保障を得たる次第にて此の解決は双互の爲め甚だ滿足すべきものなるべし

◎豆油と制限

本年九月一日より實行せらるべしとの事なる米國に於ける外國製油品質條件中豆油に對する精製目減率色素合に關する規則の大要を聞くに豆油の原大豆油は水分又は不純物の混入なく黄三九、赤九を超ざる程度の色素を以て精製すべきものにて大豆より搾出せるものたるべし苛性曹達の使用に據る五パーセントを超ざる精製目減率に對しては化學者委員會に附託するの方法を採るものとす又基本原大豆油は黄三五、赤十一を超ゆるに至らざる色素を以て精製したる水分又は不純物の混入なき大豆より搾出すべし苛性曹達の使用により七パーセント以上の目減率を以て精製したる油は却下せざるを條件として化學者委員會に附託する方法に據るものとす但し當該油の契約價格の相應する割合にて減價すべしと(大連)

九州視察團寫眞帖

(別府)三日月地獄

◎沃野千里のゼーヤ廣原に

◆水の幸ち多きゼーヤ河◆
◆野魚の美味を君知れりや
◆ブラゴエシチエンスク◆

過般來過激派との衝突、邦人の虐殺等にて知られたる黒龍江中の一大都市ブラゴエシチエンスクとは如何なる土地か、同地に永く居住して居た某氏の談を聞くに左の如くである(長春)

ブラゴエは黒龍江とゼーヤ河との合致點に位し、彼の黒龍鐵道の中樞に在つて政治上、軍事上、將又經濟上の重要地點である、同地が今日露人五萬日本人約千人の外に多數の支那人を抱擁せる一大都市となつたのは有名なるゼーヤ河上流の金鑛を控へゼーヤ沃野に抱擁されて黒江を隔てゝ對岸は支那側の黒河と相對してゐる形勝の位置にあるからである、同地が世人に知らるゝ樣になつたのは彼の西暦一千八百五十八年の有名なる愛琿條約によりて始るのであつて北滿事變の大虐殺は世人の知る處であらう抑も露西亞が東洋に其の有する野心の手を伸したのは彼のムラビヨフ、アムウルスキー將軍が一隊の精鋭を率ゐて其の慾望を黒龍の野に恣になせるに始り、ニコライの一戰によりて支那は脆くも沿海州一帶の利權を露西亞に提供するに至つたのである、そこで露國は沿海州黒龍州ヤクト州の三州に分ち沿海は浦鹽ヤクトはヤクトに、黒龍は彼のブラゴエに各州長を置き之れを總括した沿黒龍江總督をハバロフスクに置いて戰前迄は排日の巨頭とも云ふべきゴンダッチが此の總督の職に就て熾んに排日排東洋人の氣勢を擧げ頗る排すべしなぞの暴言を吐たものである、斯くの如き事情からして現在の如く露の東洋進取が捗つたのであるが之れ偏へにアムウルスキー將軍の努力の賜であると云ふので其の功勞を永遠に記念する爲に黒龍江一帶をアムウル州と稱し黒龍鐵道を

◆アムウル鐵道と唱へるに、

將軍の名を冠した

のである、支那は之れよりして彼のブラゴエに對抗すべく瑷琿を彼の黒河に移して大いに力を注いだので即ちブラゴエと黒河とは相對して黒龍江沿岸の重地として併び發展するに至つたのである、ブラゴエの市街は哈爾賓以上に整頓した市街であつて建物も相當立派なのが多い、農産物や肉類は例のゼーヤ沃野より産出するから隨分豐富であるが魚類に至つては年中潮流の黒龍江であるから餘り食料になるものは捕れぬが、それでも鱒鮭は多量に獲れ殊に同地名物の鰐魚の子カピウヤが食し得る生の物は隨分高價であるが小さき罐詰物なれば一錢三留位で買ふ事が出來得る、同地の嚴寒は攝氏の零下四十度にも下降するが馴れればそれ程苦痛ではない

黒龍江に就ては

◆邦人には隨分面白い因縁

のある處である彼の明治十七年頃日本人が始てニコライスクで黒龍江物の鮭や鱒の鹽漬を買うて日本に輸出を企たのが始りで其の後は此の貿易が非常に盛になつて來た一時は日本帆船の五六百隻もニコライスクに來て居た事もある然るに茲四五年以前より露人が鮭鱒を露の本國に送る事を始てから日本への輸出がパッタリ絶へたが我が函館其の他北海道近海で鮭鱒等の漁業の盛になつたのも其の一半は彼等に教を受けた點が多いのである

◎植林の餘地 十五萬町歩あり

◆忠清南道の管内に於て◆
◆近々本年度より執行すべし◆

忠清南道の未立木地は約十九萬町歩と稱せらるゝも此中には畜牛牧養場及び農耕の適地あり且つ又岩石等の爲め植林に適せざるもの亦多かるべきを以て是等の面積を控除したる造林施業地を約十五萬町歩と見て可なるべし此内面を本位とする部落林三萬五千町歩、私有林若しくは貸付により將來私有林と爲すべきものを十一萬五千町歩と假定して前者は大正七年度より十箇年、後者は同年度より二十五箇年間を以て全部の植林を完成せしむる計畫を立て今年度は其の一期年として愈々事業に著手したる筈なるが部落林の面積は其の面に在る林野の廣狹に依り一樣に律し難きを以て一面百町歩以上三百町歩平均二百町歩と限定し其の植付勞力は凡て面民の負擔とし苗木は面苗圃に生産したる苗木を以てし若し必要と認むる場合は地方生産の苗木を買收し無償配付を爲すことあるべし私有林野は十一萬五千町歩を二十五箇年間に完成せんとせば一箇年の面積四千六百町歩に相當するを以て一町歩に三千本を植付くるものとして毎年一千三百八十萬本の苗木を要すべし此の造林地は毎年之を調査し林野所有者及び占有者に造林を指定し若し指定に應ぜざる時は森林令第四條を適用して造林命令を發すべし此の造林に要すべき苗木植付は一切所有者占有者の負擔なるも國土保安上造林を必要と認むる箇所及び特別の事情ありと認むる場所に限り苗木の無償配布を行ふこともあるべし又植林すべき樹種は其の地の氣候風土に依り定むべきも當然の

◆針葉樹五割と

◆闊葉樹五割を理想として◆

前者は赤松、黒松、落葉松を主とし後者は栗、櫟、ヤマハンノキを主とするものなるが是に伴ふ苗木の生産力は毎年多大の不足を見るべきを以て道に於ては面及び民間苗圃の增設を獎勵する方針なりと

◎牛移出旺盛

◆下關のみにて一日三百頭◆

近時朝鮮牛の内地移出頻々として行はれ既に門司、釜山、木浦等に根據を構へたる商人は廣く各地に活動し生牛購入をなしつゝあるが去月一日よりは生牛移出稅撤廢されたる爲め一層の移出旺盛を極め現時は下關に揚陸さるゝ頭數一日既に三百頭を下らざる盛況を呈し居れり殊に平南北地方の生牛は體質優良なるを以て此の方面への買出し多く之が爲め市價益々奔騰し今や農繁期を眼前に控へたる農民の影響甚大なるものありと(平壌)

◎未踏の地に 入込邦人多し

時局以來我が商工者の北滿に著目するもの尠なからず殊に吉林を中心として大活動をなし居れるは山本唯三郎氏の松昌洋行、神戸鈴木商店、三井物産會社、大倉組の四巨頭にして三井物産會社は北滿森林事業に對し這般の調査を遂げ大資本投入の計畫あり神戸鈴木商店は森林の外主に鑛業方面に活躍し居りて又東支線一面坡南方地方の古來より邦人の足跡を印せざる地方にも最近有力なる方面より査員多數入込み居れりと云ふ(奉天)

◎安東縣とホテル

安東縣の有志者間には以前より相當なるホテルなきを遺憾とし之が建設に關し種々研究を重ね曾つて滿鐵に對しホテル建築並に經營方の交渉をなせし事もありしが當時滿鐵に於ては新義州ホテルあれば當分夫れにて間に合ふべしと稱して取合はざりしが滿鐵にては本年新春頃より俄かにホテル設置の必要を認めたるものゝ如く安東驛樓主と船津氏との間に其議漸く熟し經費十萬圓を要すべく稍々具體的に其議進捗し來りたるを以て船津氏は從來より安東旅館業者を差措き斯業者に何等の相談もせず突然是れを發表するは德義上面白からずとて是れを民團行政委員を通じ相談中の由なるが目下の處未だ斯業者側の確答に接せざるも兎に角安東にホテル設置の議の進みつゝあるは確實なるもの也(安東)

◎東拓滿洲の成績

東洋拓殖會社大連支社の三月末日迄に於ける貸付金勘定を聞くに其口數三百十六口の貸付金二百五十一萬六千八百八十四圓六十八錢にて現在貸付高二百九十四口金二百三十二萬七千○三十六圓四十錢なりと云ふ、支社は當地に於て僅々半箇年間に斯かる數字に上れるに照し本年度末迄を假に二百萬と見ば優に四百萬以上に上るべく然る上は大連支社は確かに獨立し得べし(大連)

◎石炭値上

滿鐵販賣課は七日より炭價値上げを實行せり右は原價の騰貴と運賃率改訂の結果値上げを餘儀なくせられたるものにて四平街同課出張所渡しは撫順塊炭十圓八十錢切込九圓六十錢其他煙臺本溪湖牛心臺炭何れも從前に比し値上げせらる(四平街)

◎鱈の賑ひ

慶北盈德郡丑山近海は三月上旬より漸時鱈の盛漁期に入り既に同月中内地人一千二十三圓鮮人側九萬四千五百圓の漁獲あり其の價格は一尾五錢内外なりしが仲買人も多數入り込みし爲め丑山浦は大に賑へりと(大邱)

台所 その日／＼

◇胡麻汁粉◇

水一升ほどを煮たてた中へ砂糖八十匁位を入れてよく溶かします其中へ斷腸の小袋一ネを加へよくかきまはしながら煮たてます別に胡麻一合五勺ほどを炒つて擂鉢で能く擂り鍋へ入れて一緒にまぜ合せどろ／＼になつたところに餅を入れて食べます餅は燒いた方が輕くて香ばしいやうですこのお汁粉は鍋に沿んで香ばしい物として賞味されます鹽は適宜に入れて味加減をなしなければなりません

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第四十二席

小太郎忌な奴だと思つて呼ばれたが聞かれ振をして傍を向いて居りました處が件の武士後へ來て 武『アイヤ御武家々々』肩へ手を懸けた、是では默つて居る譯にも往かず振向いて 小『ハア、拙者でござるか何の御用で……』 軍『身共は天下無敵流の開祖梅軍内兵衞實輝と申す者、貴公も武術修業者と承知いたす、御迷惑でもあらうが一本お手合せを願ひたい』 小『手前は若年の未熟者で、却々お對手は叶ひません、平に御容赦を……』 軍『其れは未熟であらうけれども、未熟だから御免下さいといつて尻込みをするのは武士らしくない、男子の恥づべき事だ、及ばんまでも之れへ進んで立合が宜い、手柔らかに指南して進ぜよう、何も恐ろしい事はないのだ』 小『然らば御指南を願ふ、併し船中では手狹でござる、アノ向ふに島が見ゆる、依つてアノ島へ上つてお立合をいたしませう』 軍『成程船中では狹いから島へ上つて勝負をするといはるゝか其れも宜からう、だが島へ上る程の事もあるまい、多寡が未熟な足下を對手にしてホンの型を教へて進ぜるだけだ』 小『イヤ貴殿は天下無敵流でも私は最些と上手の劍法を學んで居りまして今日まで一回も不覺を取つた事がございませんから貴所と立合つても負けないつもりで、萬一の事あつて貴所に怪我でもさせると船中一同に迷惑を懸けますからアノ島へ上つてお立合をした方が宜しからうと存じます』 軍『ツイ負けた事がない、大膽どうも口廣い事を申す男だ、一體貴公の流名は何んといふ』 小『私の流名は無手勝流と申します』 軍『無手勝流、聞いた事がないな、開祖は……』 小『私が開祖で……』 軍『ナニ貴樣が開祖だと之れはどうも以ての外の大言を吐く奴だ、何んで無手勝流だ』 小『拙者は木劍、竹刀は手に執らん、無手で當の敵を倒す、依つて無手勝流と申す』 軍内兵衞、怒るまいことか、烈火のやうになつて 軍『此奴が／＼口が横に開いて居るまゝに憎くい所の一言、サア速やかに彼の小島へ上陸いたせ、無敵流の技倆を見せて呉れん』 小『拙者も無手勝流の極意を御覽に入れよう』之れを聞くと乘合の者一同 〇『どうでげす大分アノ武士熱がつよい、無手で勝つから無手勝流だなんて恐ろしい事をいふ、此方の武士め、怒つてしまつた、何うなるか分らないが併しマア船の中で初められないで仕合せ、アノ小島へ上つてやるさうだ、彼所なら喰合はうと死合はうと勝手にするが宜い、マア／＼御同樣に係合にならないで宜うございます』 ×『左樣々海は穩かだし斯ういふ面白いものを見られるといふのは有難いもんだ、オイ／＼、船頭さん早くアノ島へ著けてお呉れ、船で初められちやア大變だから』 船『宜うございます』と船頭も心得て船を小島の岸に寄せると 軍内兵衞忽ち鉢卷襷甲斐々々しく扮裝つて大刀を腰に打込み、木劍を携さへて、身を躍らせると、ポーンと彼の島の岸へ飛移り、ドウ／＼と力足を踏締めて 軍『さア天下無敵流の技術を見せつけ呉れん早く上陸をいたせ』と威張つて居る、小太郎笑つて 小『コレ／＼船頭櫂を一本貸して呉れ』 〇『アノ武士は一足飛びに飛上つたが此方の武士は櫂を借りて飛ばうといふ大膽大事を取る人だ』と笑つて見て居ります、聽て小太郎櫂を借りて小島の岸へ其れをズッと延して當て、一つ力を入れてグイと押すと船はザ、、、ザアッと島を離れて後へ戻る、島へ飛上つた軍内兵衞 軍『コレ／＼何を馬鹿な事をいたす、早く島へ上つて來い、何で船を其方へ／＼』小太郎櫂を投捨て 小『船頭早く船を遣れ、之れが即ち無手勝流だ』とカラ／＼と打笑つた。

赤い羊かん 奕のこゝろ 木村屋名物召しあがれ (京城明治町 電二八七〇)

暦 四月十二日九星 舊三月三日庚寅 本命三碧 東開 大安

演藝案内

京城壽町 電話五七八番 壽座 十一日午後五時より開演 京城女優團連鎖劇一行 第一 連鎖劇 高砂 十八場 第二 新喜劇 三つ重 三場 第三 人情劇 姉と弟 二場 第四 …

櫻井町 電話八七三 大正館 「歐洲最近の狀況」全三卷 …

明治町二丁目 電話二六〇番 浪花館 東京浪花節會 …

電話二三六六 黄金館 …

有樂館 …

女中募集 十五歳より三十歳迄 漢江畔鳳山遊園地入用 希望者至急來談を乞ふ 京城旭町一丁目 丸萬 電話一五九三番

汽車 京釜線(南行) 同(北行) 湖南線 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京元線 同 京仁線(仁川行) 京元線(北行) 同(南行)

醍醐の花見

慶長三年(三二〇年前)正月關白秀吉公左の式目の觸書を出さる是れ彌生半に醍醐三寶院に於て花見の御催あらんとての準備の爲なり。

一、三寶院小破の所修理を加ふべし大破なるは新に立べし壁以下改むべき事

一、院外五十町四方、三町に一ヶ所づゝの番所を設き弓鐵炮の者堅く守るべき事。

一、伏見より醍醐に至つて、道の左右に埒を結ぶべき事。――(中略)――

一、振舞等其外調達に有るべき事。

―(中略)―

一、中山山城守、中村式部大輔、右兩人惣構の内に爲二奉行一、御用人の外一切出入可レ停止一。――(下略)――

かくて三月十四日、佳酒珍肴を山と盛り種々の趣向、色々の狂戯をして興を助け奉る中にも**紅の糸にて綱を作り鈴多くつけて**風のまにまに清き音の出づる當日第一の樂みとこそしるされける。(絵本太閤記に據る)

京城日報
十二日朝刊（夕刊併せて八頁）
本紙定價 … 廣告料金 … 京城太平町通一丁目 發行所 京城日報社 … 印刷人 小川三之助 [illegible]

…十一月新…寄合は杉之森四百十八圓三品は…

▲原棉　…に逆行したる相場を現し遂に六日は杉之森三百八十八圓丁度三品三百七十七圓五十…方の低落を報ぜられ旁利筋は一般に利抜けし…後とて買附かず却て人氣の…を好機と…荷の增加となり三日末日現在に於ける阪神各倉庫の殘高は七萬二千五百四十九梱にして二月末に比し輸出筋及び…
…圓七十錢の珍高値を告げ居り…採算を切詰めたる處に由るも右を下らず隨つて二十手の原價採…
▲棉花の供給不足は既に…前社目…低上…操業短縮の継續又は…率を云々されつゝある昨今果して…經濟妥動は愼むべしと（東京）…ろに難からざるべ…一時の人氣作用に左右されたる…

遊支偶錄

蘇峰生

(十六)支那人の伎倆

支那人の最も卓越したる伎倆は、其の崇高、精美なる理想境と、俗惡、醜陋なる現實界との間に跨りて、矛盾の失態を暴露して、毫も衝突せざるにあり。此點に於ては、良心を自己の隨意に操縱するの、大自在力を有するを稱せられたる、英人さへも、跣足にて逃げ出すならむ。蓋し支那人に及ぶ可らざる所は、此の極めて不自然なる敵對の兩者を、何の骨折もなく、何の作爲もなく、極めて自然的に併せ行ふにあり。要するに是れ彼等が、平氣にて之を行ふが爲めならむ歟。

惟ふに理想境のみを見る者は、勢ひ支那人を買被り、現實界のみを見る者は、勢ひ支那人を見縊るを免れず。而して今日に於て、世の所謂る支那通と稱する者は、自から觀察の精透を誇りて、支那人の皮相は、前者にありとなし、其の眞相は、後者にありとなし、所謂る支那人を目して、一種の沒理想的動物視する者あり。然も是れ亦た見當違たるを免れず。

支那人は決して、沒理想人種にあらず。唯だ彼等は、理想を理想として受用して、之を實踐せざるのみ。實踐せざるが故に、支那人より一切の理想を奪ひ去らん乎。是れ婦女子が、其の美服を著せざるが爲めに、其の必要なしとして、之を奪ひ去らんとする也。其の當惑や知る可きのみ。

支那人の理想に於ける、猶ほ婦女子の衣服に於けるが如し。彼女等は之を簞笥の裡に藏めて、自から之を樂みつゝあり。既に著用せざる衣服なれば、其の有無は、彼女等の生活には、何等の影響なき也。されど彼女等は之を以て、其の胸中に於ける、一種の誇りとしつゝある也。支那人の理想は、其の現實の生活に、何等接觸する所なきも、之を彼等より除却せん乎、彼等は實に物足らぬ心地する也。されど若し彼等が此の理想に遵由して、行止するものと思はゞ、是れ更らに大なる誤解也。彼等に取りては、徹頭徹底、何處迄も理想は唯だ理想也、現實は唯だ現實也、而して恰も兩輪、双翼の如く、彼等に受用せられつゝある也。

英米に於ける製鐵業の趨勢(九)

ロ、鋼鐵生産費の昂騰

製鋼品の價格も亦過去二年間に於て示したる如き高價は之を最近の工業史に徵するに未だ曾て見ざる所なり鋼鐵軌條の如き開戰前までは十數年間一噸二十八弗なる一定價格を保ちたりしが戰爭景氣と共に三十八弗に進め以て今日に至れり又銑鐵は一噸五十八弗棒鐵は同百弗針線は同九十五弗又鋼片は一封度四仙五厘（去る七月の相場にて）タンク用鈑同九仙の高價なり是に於てか米國政府は或種の鐵製品につき價格を制限するの必要を認むるに至れり或種の鐵製品とは如何なるものを指すや其の詳細は未だ聞くを得ざれども必ずや米國政府の註文品（數月來既に協定價格あり）以外の鐵製品に於てなるべし然れども其の實行以前米國政府なるものゝ充分之が研究を遂ぐるに非ずんば他日噬臍の悔を殘すべきことを保し得ざるなり

結論

『スタチスト』誌は其の結末に於て述べて曰く上來述ぶる所により吾人は製鐵業の將來につき如何なる斷案を得べきか之を英國に見るに鐵板、軌條其の他各種の大形なる鐵材の製造を爲す工場は新設備と共に其の大部分を其の儘戰後にも繼續し得べしと雖中には全く無用に歸し廢止を見るべき器械もあるべし左れば戰後の英國の鐵工業は約五割內外の餘力を生ずべきも其の生じたる餘力を他に轉ずるは容易の事なり軍艦に使用せざる鐵板は之を商船に使用すべく銃砲彈丸の需要は減少すべきも桁柱軌條の需要の如きは寧ろ增加すべし戰時と平時との間に於ける轉換調節の斯の如く容易なるは如何なる他の産業にも見ざる所也加之更に之より稍廣き意味の調節も行はるべし即ち鐵工業は一年以上も其の價格に對する政府の管掌の下に取引の進路を妨止せられたり斯る管掌は取引の妨礙となる點に於て比較的微小なるもの[illegible]、而も其の價格は其の市場に價格に非ず平時順當なる市況の下にありては取引の隆否は主として自由市場が決定する價格の如何によりて定まるものなり勿論開戰前にありても價格に對し國際取引の關係よりして來りたる一種の管掌なかりしに非ず又發展改良の目的を以て內外市場に於て共同運動を爲さしむる爲の官邊の努力も之等は必しも全然排斥すべきものにも非ざるべしと雖取引の發展は其の自然に發育を遂ぐる時に於て最も健全のものたるは何人も否定し得ざる所にして政府の包括的監督は長く繼續せらるべきものに非ず鐵工業も亦官邊の保護制限より免れんことを希望しつゝあり吾人が米國政府の鐵製品の價格決定につき其の以前充分の熟慮研究を要すと云ふ所以も亦爰に存するなり次に倫敦『タイムス』紙は其の最後に述べて曰く戰後英國が獨國を驅して今日獨國の占有する鐵輸出上に於ける第一位を奪取するに至るべきは明なり蓋し獨國は既に無數の壯丁を失ひ原料品の供給を絶たれ商業上の勢力を失墜し加之戰後各國より同盟非買をも行はるべき窮境に立ちたれば新に戰爭の爲に生産力の增加したる英國鐵工業の競爭者に非ざることは贅言を要せざるべく又多年南米其の他の市場に於て僞造の商標を以て英國鐵工業者を苦め居たる獨逸品問題の如きも容易に解決を見るに至るべきなり只問題とする所は今日製造品の輸出額に於て第三位を占め國際海運に於て第五位を占むる米國が[illegible]ろ競爭者と爲るに非[illegible]ことゝ是なり米國が其の大なる鑛[illegible]藏しき人口殷盛なる企業熱を[illegible]て何故に獨り製造業と海運業とに於て國際取引上第一位を占むるに至らざるかは寧ろ疑問とする所なり然るに今日米國は其の無限の資財を以て其の巨大なる經濟に適する爲製造及び海運に關する大計畫を立てつゝあること前述したる如きものあり果して然らば將來獨國に代り英國の主なる競爭者と爲るものは米國に非ずやとの疑問は必ずしも荒誕無稽の語に非ざるなり

吉野懷古

八十九翁 十洲 細川潤次郎

九郎功成乃兄怒。欲依山僧僧不附。脫身去踏高重雲。家僕佯死忠臣姬。見捕。帝子嬰城城不完。自屠腹其肝。行宮四世五十歲。吉水院古苔色寒。芳野往事詳于史。遺跡歷歷空山裏。延元陵下行人跪。僅換錢。花時携酒好聽鶯。不然秋冬揣[illegible]日。幸有千樹櫻。備目荒涼何堪。懷古之情。[illegible]

九州視察團

（出發準備 愈々完成）

福岡市開催 九州沖繩物産共進會視察
久留米市開催 全國發明品博覽會見學

花笑ひ鳥唄ふ陽春四月費用と時間を巧みに節約し九州各縣官民の懇切なる優待と讙迎に浴しつゝ、花實併有の新九州視察を爲す我社主催の九州廻遊視察團は愈々來る拾五日京城出發南下す會費は僅に八拾圓『思ひ立つ日が吉日!』再び來らざる好機を逸せず奮つて參加せられよ

東京帝國大學及舊藩諸侯珍藏秘書謄寫

日本國史叢書

會員募集

振古未曾有國家的大事業

苦心十年、第一期初卷遂に成る

人生過去の經驗は、之を移して以て將來の鑑戒と爲すべし。過去幾年代の國民的經驗を記錄せる史籍が、吾人の前程に對して、一大探照燈たり得るは之が爲に外ならず。史上の精華たる忠臣義士の美談、英雄豪傑の壯擧、乃至各時代に於ける人情風俗習慣等、あらゆる實際生活の描寫は、知らず識らずの間に讀者を薰化して、正義を尊び、勇武を重んじ、祖國を愛慕するに至らしむ。是れ歷史趣味に富める國民の、特に忠烈正義の美風を保ち、愛國心の强烈を示す所以なり。即ち歷史は處世の活學問として、又薰化の樞要機關として、極めて重大緊要の者たるを知るべし。歷史趣味の鼓吹、豈に剴切ならずとせんや。然るに近時刊行の歷史書類を見るに或は片々たる小冊子か、或は乾燥無味なる考證物か、或は俗惡なる荒唐無稽の史談か、或は興味索然たる教科書類か、或は淺薄なる書生的史論かにして未た以つて大いに國民的情操を涵養するに足るべきものあることなし。

吾人等茲に鑑みる所あり、三上、萩野、田中、黑板、辻、三宅、松本、關根、佐々九博士、和田、渡邊、八代等史料編纂官笹川、菊地、矢野、三文學士黑川先生等斯界國學大家と謀り、日本國史編纂事務局を創設し、各自調査研究に從ふこゝ茲に年あり、主として東京帝國大學文科大學所藏の資料に據り一面に於て舊藩諸侯門外不出の珍藏秘書を借覽謄寫し裝を凝らして是を刊行す。而して解題を揭げ系譜を示し、嚴密の校訂を加へ、地名人名及び其他名稱等の假名書にして誦讀に晦澁なるものは、悉く漢字を補缺し且つ讀難く讀誤り易きものには出來得る限り振假名を施し、尚原本の蠹損缺損等は異本と校合して之を補塡し、茲に漸く第一期初卷の刊行を見るに至る實に本書の原本は文科大學所藏其他各文庫及び諸家世襲の秘藏に成る珍籍にして冊數無慮五百餘卷の多きに上るを以て其浩瀚なるを知るべきなり。又之を蒐集するとせんか數百萬金を擲つも能はざるべし。仰ぎ希くば有志有力の諸彦此の國家的大事業に對し絶大なる贊助を寄せられ續々會員として加入の榮を賜り讀史趣味の鼓吹、風敎の薰化に資せられ以て此の國民的大文庫の完成と普及とに盡されんことを切望懇願の至りに堪へず。 恐惶頓首百拜

「日本國史叢書編纂評議官」

東京帝國大學文科大學教授 文學博士 三上參次
東京帝國大學文科大學教授 文學博士 萩野由之
東京帝國大學文科大學教授 文學博士 田中義成
東京帝國大學文科大學助教授 文學博士 黑板勝美
東京帝國大學文科大學助教授 文學博士 辻善之助
史料編纂官 和田英松
史料編纂官 渡邊世祐
史料編纂官補 八代國治
文學博士 松本愛重
文學博士 三宅米吉
文學博士 關根正直
文學博士 佐々政一
文學士 笹川臨風
文學士 菊地謙二郎
第一期編輯長 文學士 黑川眞道
第二期編輯長 文學士 矢野太郎

內容見本進呈（往復ハガキにて御申込次第）

略規定「入會金不要」

會費 刊行 各冊金壹圓廿五錢（外送料內地八錢 領土十五錢）代金引換亦は前金拂の事（代金引換五錢增）諸官廳、軍隊、會社、銀行、在勤者は送本後支拂不苦（申込書へ在勤先記入の事）
毎月十日一回發行（一卷宛）
會員は第一期初卷より第三期終卷迄繼續すべき事
全卷五十九冊 第一期二十冊書棚付 第二期二十冊書棚付 第三期十九冊書棚付（各期共終卷の配布の節書棚無料進呈）

本書の裝幀

天金總クロース製金文字色模樣入表紙寸法竪六寸五分橫四寸五分厚一寸四六版各卷五百頁內外紙箱付美本第一期十七回彩色刷石版三百頁豫定全卷五拾九冊約三萬頁豫定

地方支局。支部。局員募集「保證金不要」

支局設置資格者　在住地に於て信用あり部下十名以上使用得可き資力ある人望家を採用す
支部設置資格者　在住地に於て相當信用あり部下五名以上使用得可き資力ある敏腕家採用す
局員資格者　一定の住所を定め品行方正にして日々配本部數引取出來得る者採用す
右希望者は參錢切手封入照會あれ（募集材料入用の方は十五錢封入）

東京市赤坂榎坂町 日本國史編纂事務局 松本商會營業部 人事部

發行兼申込所 東京市赤坂區榎坂町 [illegible] 松本商會出版部

○帝國對露態度 今後の形勢如何

帝國政府の對露態度は今後の形勢を見たる上にて其適應策を講ずるにあるが露都發ロイテル電報には露國政府が全西伯利の戰爭狀態に入れるを宣言し西伯利勞兵會に對し日本軍に抵抗する爲め赤衞軍の編成を命じたる旨報じ來り其用語不穩なる爲め事態容易ならざるやに見ゆるも實際は左程切迫し居るものとは認め居らず ロイテル電報に所謂全西伯利にエタ、ド、グールを宣言したりとは寧ろ臨戰地域と解釋し對外的よりも寧ろ對內的に騷擾の勃發を防止する爲に戒嚴狀態に入れるを宣明せるものと解釋し得可く一方陸戰隊の上陸に關しては不取敢我領事をして浦鹽勞兵會及び西伯利各地勞兵會に對し其理由が全く居留民保護にありて露國人民並に過激派政府に對し挑戰するものに非ざる所以を詳細說明せしめたるも未だ中央政府に對しては何等說明を與へ居らず近は追てヴオログダに駐在せる帝國政府代表者たる參事官より詳細說明し其諒解を求むる筈となり居れり 若し過激派政府が此說明に滿足せざるか又は西伯利各地の勞兵會が萬一急遽不穩の行動に出る如き事あらば或は形勢險惡となるやも圖られざるも目下の形勢にては夫れ程危險の兆候を認めずと當局者は語れり（東京特電）

○浦鹽閉鎖と戒嚴令

浦鹽勞兵會はレニン政府の命に依り同市會がウトウシヤ會卽ち反過激派並に有產階級を以て組織せるものなるに依り逆に解散して勞兵會と代る可く命令を發し盛んに同市會を威嚇中なるも日英陸戰隊上陸の爲め猶其目的を遂ぐるに至らず而も同港は閉鎖を行ひ出所不明の戒嚴令發布されたり兎も角勞兵會の對日抵抗運動は開始されたりと見る可し（浦鹽特電）

○過激派滿洲里砲擊

ダウリヤ驛に於ける過激派首領は支那官憲に對し最後通牒を送り反して滿洲里停車場を砲擊せり然れども砲彈は同停車場に達せざりき 支那官憲は是れを拒絕したる爲め過激派軍は進軍信ず可き報道に據れば過激派軍は浦鹽斯德の附近なるウトラクアンチカ停車場に其兵力を集中しつゝあるが聯合軍に對し進擊せん爲めなりと（北京特電）

○東部西伯利邦人引揚か

東部西伯利黑龍江州共に勞兵會の煽動にて形勢甚だ不穩なりイルクツク、ハバロフスクの日本人は全部引揚げるならん（哈爾賓特電）

○支那住民保護交涉

在浦鹽支那人は自國政府に保護を求め同政府は聯合國に對し黑龍江州在住聯合國民の保護に就き交涉中なり（北京特電）

○聯合軍の逆襲奏効

伊獨戰線のアヂアゴ高原にて我が軍の逆襲砲擊は敵軍戰線內に爆發及び火災を惹起せりアフガゼの對岸に於て敵の短艇若干隻は我が砲火にて擊沈されたりサルガレダとゼンソンとの間に我が軍は敵の激しき砲火に對し猛烈に應戰せり全線の他の部分にては重大なる出來事無しサンタ、ルシア、デ、ピアヴエの上空に於て敵の一飛行機は我が一飛行家の爲めに擊落されたり（羅馬電報）

●長沙の大掠奪

土兵頭に立ちて屋內に闖入し無賴兵士の闖入したるもの[illegible]戶あり[illegible]長沙附近に於て[illegible]

○敵佛豫備隊を牽制

廣大なる戰線に亙る敵の攻擊再開は期待せざるべからず我軍は八日オアズ河畔にて突出點を削除し且つ敵軍支持の使命を全せん爲め撤退し此間に我主力は新陣地に著きたり敵は其の主要攻擊目標たるソンム戰線の攻擊を容易ならしめん爲め他の地點に我が豫備隊を牽制せんと努めつゝあり敵は先頭線の背後三軒の線に佛兵の捕虜を使役して勞務に服せしめつゝあり（巴里電報）

○伯刺西爾要港閉鎖

外務省發表＝伯刺西爾國政府は戰時警戒の爲めリオデジャネロ港を閉鎖したるが更に北部諸港の夜間閉鎖を爲す事とせる旨通告あり（東京特電）

○墺外相の平和演說

墺國外相は西部戰場の攻擊成功を利用し早くも平和演說を試み聯合國の平和意嚮を探り且つ盟國に單獨講和を勸めたるも同國の輿論には大なる反響なきが如し（倫敦電報）

○黎氏討伐軍の組織

黎元新氏は黎天才氏討伐軍を組織し三營より成る二個隊を以て鄧子江を挾んで宜昌より兩岸に進發せしめ三州を攻略す可しと（上海特電）

○光明師上海へ

大谷光明師は夫人と共に十一日神戶より熊野丸に乘船上海に向へり光瑞師を訪はんが爲也（神戶電報）

○ゼリー博士通過

ゼリー博士は十一日夜釜山通過岡山縣病院四十年記念會を經て東上の筈（釜山特電）

○永沼中將來著

帝國在鄕軍人會理事永沼中將は長春守備隊遠藤大尉と共に午後零時三十分來著多數の官民及び在鄕軍人等の出迎を受けて領事館に休憩の後孟督軍を訪ひ夫より北山に遊び同五時より在鄕軍人分會主催の晚餐會に臨み同七時より中日語學校にて講演あり夜は名古屋館に一泊十二日朝六時發長春に向ふ筈（吉林特電）

○小池司令官談

小池憲兵司令官は十日來長十四日發京城に向ひたるが記者に語りて曰く予が獨立守備隊司令官より現職に轉任せるは三年前なり其當時在滿日人は九萬餘なりしが今日尙十萬餘に過ぎず予は寧ろ滿洲の邦人發展の遲々たるに驚かざるを得ず滿洲は鐵道を中心として其沿道に經濟力集中し續々邦人の來住を見ざる可からざるに殖力極めて弱きは附屬地內に馬賊の橫行頻繁なる爲めなりと聞く予は切實に警備機關の徹底的充實の急なるを思ふ（長春特電）

○辭令

十一日左記の通り辭令ありたり（東京特電）

從四位勳一等子爵 趙民熙
任李王職贊侍高等官二等
李太王附を命す
李王職贊侍男爵 金春熙
依願免官
男爵 金春熙
中樞院贊議被仰付

鮮鐵工事概況

三月三十一日現在朝鮮鐵道建設工事其他業務成績概況を聞くに

△京釜線

金泉秋風嶺間線路改良工事（十四哩一分）土工六分二厘、橋梁六分三厘隧道工事中太平隧道（延長一千九百八十呎）拱巷掘八十一呎、新村隧道（延長一千二十三呎）側壁疊築百五十二呎拱疊築百七十五呎にして全體を通じ五分七厘竣工なるが本工事は順調に進捗し八年一月九日內竣功の見込 秋風嶺永同間第一工區線路改良工事（六哩八分）土工五分一厘、黃澗隧道延長二千三百呎掘鑿一千九百四十七呎側壁疊築三百七十三呎拱疊築四十八呎全體を通じ四分一厘竣工にして期限八年二月中旬內竣工の筈 秋風嶺永同間第二工區線路改良工事（六分八厘）土工四分橋梁一分九厘隧道二分五厘にして本年末竣功の豫定 南部停車場前後線路改良工事（五哩四分）[illegible]全體を通じ三分九厘竣工 沃川大田間線路改良工事[illegible]三月二十五日着手 龍山停車場構內地下道附近地等其他工事[illegible]全體を通じ六分六厘竣工

△湖南線

大田停車場本屋其他改築工事 七分竣工
金堤四街里間線路改築工事 [illegible]竣工

△京元線

毛洞木浦間線路改築工事 竣工
釋王寺元山間葛麻川橋梁新設工事 八分四厘竣工

△咸鏡線

龍興江橋梁及び前後土工其他新設工事 土工八分三厘、橋梁七分二厘[illegible]竣工

◎公會堂新營費

京城府公會堂兼用京城商業會議所事務所新營計畫は着々歩を進め已に商業會議所にては數日來之れが建築費十三萬圓の內十萬餘圓の寄附勸誘に着手し有力なる銀行會社其の他の贊同を得つゝあるが鮮銀の一萬圓を始め長谷川總督個人として五百圓の寄附を快諾し東拓にても一萬圓寄附の內諾ありと尙公會堂新築費十三萬圓の外に建築及び椅子一千脚に要するものゝ外其調度等を整へなば[illegible]要すべく卽ち總額[illegible]投せざるべからず是は全く市民一般の贊助に俟たざるべからざるものなるが會議所自身をして之を爲すを憚ると大村書記長は語れり

◎海港檢疫と鼠疫

支那直隸、山東、江蘇各省沿岸に對する、ペスト流行地の認定は其の必要なしと認め九日之を解除し同地方より來る船舶の停留を廢止せり

◎預金貸出增加

三月中鮮銀本店狀況を聞くに朝鮮銀行本店三月末の狀況は預金貸出共に之れを二月末に比し約八十萬圓の增加となり居れり乃ち左の如し

▲預金 口數三千五百二十四口其の金額一千四百七十一萬五千四百圓にして二月末に比し口數に於て百零四口を減せるも金額は七十八萬五千圓を增加したり

▲貸出 八百八十七口一千四百三十二萬零二百圓にして之れを二月末に比すれば二百十二口八十三萬八千七百四十圓の增となり居れり尙ほ右の中同業者に對する貸出は五十四口金額三百十三萬二千五百零八圓なり

◎上杉法學博士

法學博士上杉愼吉氏は視察の爲め近々入京數日滯在の豫定なりと

◎兩參謀長東上期

來る二十一日より六日間東京に於て開會の參謀長會議列席の爲め朝鮮軍參謀長[illegible]少將は第十九師團參謀長[illegible]大佐と同道十六日頃東上の豫定なり

◎赴日記者團と人物

既報の如く十三日夜入京の豫定なる赴日支那記者團は北京及び天津の報館に於ける錚々たる人物を網羅せるものにて一行十九名[illegible]社長渡邊哲信氏、共同通信記者長谷川賢[illegible]、東方通信社[illegible]八郎、[illegible]滿洲日日支局監督原田顧次郎の五氏（內二名本發）案內役たり支那記者中には日本に留學せしもの六名あり中には帝國大學、東京高等工業學校の出身にて頗る日本通もありと

◎國分保安課長 微恙 國府總監部保安課長は微恙の爲め自宅引籠り靜養中なり

百閒百種

支那人が日本から金貨百圓を支那に持行て潰すと百二三十圓位になるさうだ甚だしいのは二錢銅貨を縱に二つに割つて銅をくり拔き替に砂などを入れて舊の儘に合せてゐるが其巧な遣り方には新米の銀行員などは迚も見分ける事が出來ない▲高橋是清男は保健衞生の爲め每朝銀の大きな吸口を鼻と口に當て水を潜らして盛んに酸素吸入を遣つてゐる▲男の話に依ると一日間斷無く吸ふと死にさうな病人でも蘇生したり立派に回復した實例が澤山あると云つてゐる▲處が男は一箇月程前から腹部に橫線の水膨れが八十幾筋も出來たばかりか其病名さへも分らないさうだ▲東京の鈴木同姓會の發會式が此程萬安で開かれた萬安主人が鈴木姓だからとて選んだので料理には『すゞき』の照燒を加へ藝妓も鈴木で無ければとあつて幹事が新富町を物色したが藝妓一人雛妓一人しかゐない夫で我慢したさうである▲其代り四月廿八日の發會式には鈴木と名のつく藝人を全部集るとやら▲御痛はしや露廢帝は兵卒と同樣の食物を攝つた爲め甚しく御健康を害されたさうだ▲之を救濟の爲め月額三百留の給料とは何と痛ましい事であるまいか▲三百留と云へば日本の七八十圓である

車中雜感

李光洙

○余は今や歸鄕の途、京釜線の二等室にあり、其の滿員なるにより景氣の好きを卜す、芽出度きことなり。

○朝鮮人にして二等に乘る者は、誰しも必ず赧面背汗、顏を擡ぐ能はざるを經驗すべし、同室の內地人の鮮人評實に酷なればなり。三等室に於いては白衣人多數なるを以つて、內地人も多少遠慮する者の如く、一等客は概ね上流の紳士なるを以つて、大人しからざる惡評を愼むべきも、二等室には鮮人も多過ぎず客も大人しからず過ぎず、實に內地人の赤裸なる鮮人評を聞くに尤も適す、評は多くは新來客の質問と舊參者の答とによりてなる、例へば『朝鮮人は便所を有せりや』と客の問へば『否ヨボは便所らしき便所を有せず、彼奴等には衞生思想缺如たればなり』と、舊參者の答ふるが如し。

○成程舊參者の觀察たるや眞相を穿ちたる者多し、されども誤れる者は更に多きが如く見ゆ、而して其の誤れる觀察は、口より口へ、人より人へと傳はりて、遂に朝鮮人に關する確實なる知識となり終る。一旦定見となれば却々拔くる者にあらず、かゝる誤れる知識を前提として推理力に長けたる人は、更に無數なる新斷定を作り、かくの如くにして朝鮮人は完全に誤解せらるゝなり。噫かはしきことにもかな。

○殊に新來者は舊參者の言を無條件に『成程〳〵』と深き興味を以つて之を聽き、聽けば成程朝鮮が解つて來る如き心地す、されば舊參者もなるべく新來者の爲に悲かんとして、多くエキゾチツクなる色彩を施す、又人情の自然なるべきも、兩者の觀相を傷くること甚大なり。

○同じく眞相を語るにも、心に於ける朝鮮人に對する同情の有無によりて甚だしき差を生ずるものなり、人の面を見て其醜を發きて、此を笑草となす、胸の短を發きて、此を笑草となす、此は決して敎養ある紳士の、及び大國民の態度にあらざるべし。

○觀察したる結果を語る時に於ても、其に同情を有すると否とによりて甚だしく其の結果を異にするのみならず、同じき事象を觀察する時に於ても然り、是見易き理なり、內地人の朝鮮人を視察する場合に於ては、同情の眼を以てせられんことを望む。

○余は車中に於て自分の酷評を耳にする時自らを恥づる情もさることながら、內地人を怨む情のむら〳〵と起るを覺ゆ、余は反抗的に『自分だつて西洋人からはチヤツプ〳〵と嘲られるではないか』と云ひたくなるなり、此余のみにあらじ、每日數千百の朝鮮人の列車中に於て感ずる所なるを思はゞ其の惡影響の尠少ならざるを推すべし。

○一體內地人の朝鮮人を理解する程度は甚だ低きが如し、余は此に關する多くの書を讀み談話を聞きたるが、勿論其の觀察の炯眼なるに感服する點もなきにあらねども寧ろ噴飯に堪へざるものゝ多きを憾む、其の時評にも少し深く詳しく見て貰ひたきものなりと怨みざるを得ず。

○ヨボは朝鮮人の代名詞となる、甚だ聞き苦しき稱呼なり、敬稱の『さん』を付けて『ヨボさん』と呼ばるればとて有難き者にあらず、呼ぶ方は面白半分なるらんも呼ばるゝ方は腸の沸返る思ひす。

●日支經濟提携

たる以來獨逸商工品は漸次日本品に[illegible]對する金融機關不整備にして對支[illegible]設立されたるあれば我國の[illegible]

株式名義書換停止公告

來ル四月二十五日ヨリ第十回定時株主總會終了當日迄株式名義書換ヲ停止ス

大正七年四月

東洋拓殖株式會社

八田志津馬先生著

訂正再版 **機械工學要覽**

定價壹圓參拾錢送料八錢

クロース表紙入三部珍 約九百頁 挿圖約四百八十〇各種テーブル約百

設計、運轉、計算の上に起る一切の不便、煩勞、錯誤等は 諸君がポケツト裡に本書を藏する事によつて除かるべし

現代機械工學に關する百般の事項（十四編六百項目）を最も懇切且可及的壓縮解說せる所に本書の價値は存す

發行所 大阪東區常盤町一 工業評論社

鮮滿大賣捌 京城本町 巖松堂 振替二四五四 電話一六六長一三四二

當る十二日より提供

戰劇 特別大興行

米國トライアングル、ファインアーツ社傑作

飛行水雷 八千呎

米國が外敵の襲來によりて亡滅の悲境に陷らんとする場合に偉大なる兵器飛行水雷の發明によりて慘禍を免るゝと云ふ戰爭劇にして極めて大仕掛に極めて現實的に多數の軍隊軍艦を使用し軍事專門家の考察によりて實戰の狀況を遺憾なく實現せしめ國民の熱烈なる愛國心を慫慂せんとする特殊の使命を以て生れたるものなり

實寫 露國革命前後の光景 三卷
滑稽 アンブローズの奮鬪 二卷
舊劇 今戶の大八 四卷
其他

日活特約 大正館 電話八七三

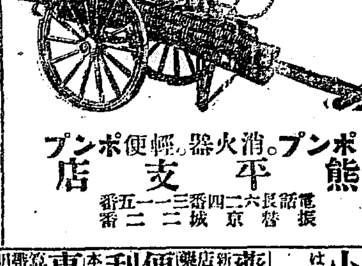
支部出張所長數名募集

金融開滿ノ現今ニ於テ最好機ナル最モ有望前途ニシテ無經驗者ニモ優ニ月收參百圓以上アリ希望者ハ履歷書戶籍謄本及寫眞等ヲ添ヘ至急本社ヘ申込マレヨ人數ニ制限アリ滿員次第締切ル故成功ヲ望マルゝ士ハ一時モ早ク申込マレヨ

東京市麴町區有樂町一ノ九の三

大日本勸業合資會社

佛法は釋迦に ポンプは熊平に



輕便ポンプ。消火器 ポンプ 熊平支店

電話長六二四番 三一一五番 振替京城二二二番

耐火煉瓦

▲蠟石煉瓦（三十番より三十四番）
▲シヤモツト煉瓦（三十番より三十四番）
▲ダイナス煉瓦 ▲マグネシヤ煉瓦
耐火モルター其他 耐火物各種

平壤府橋口町（電話壹貳五番）

合資會社 京谷商店

法人登記

楊口地方金融組合登記事項中出資ノ總額ヲ金壹千九百貳拾九圓[illegible]口數ヲ六百拾六口拂込ミタル出資ノ總額[illegible]右大正七年四月九日登記ス

京城地方法院楊口出張所

法人登記公告

一 平澤地方金融組合登記事項中出資總口數四百參拾八口、拂込出資總額壹千九百參拾八圓[illegible]

右大正七年四月拾日登記

京城地方法院平澤出張所

上京中の處昨日歸院從前通り診療に從事仕候

四月九日 京城鐘路 電話二〇一番

二宮醫院 醫學士 二宮亮吉

京日案內

普通 一行前金[illegible] 番外[illegible]

▲女子十八歲技藝學校出 御報參上 本社受附迄

電話二八一二番讓渡す 明治町一 小川電四二七へ

藥劑師至急採用 本人來談あれ 履歷書携帶 京城長谷川町五八ノ四 三好

貸家 電話 澤山有り望み通り周旋す 至急讓受たし 仲介業電二〇〇一番佐藤

代診一名看護婦一名見習看護婦一名入用希望者は至急履歷書送れ 黃海道[illegible] 共立病院 蜂木發

電話讓渡したし 呼安き番 御望の方は南大門通り五丁目 毛利迄（電話五二二三番）

支那山東省芝罘 山東省特產 萬種子物商 老舖 川上洋行

貸家 官吏會社員向 電話二五九九番[illegible]

高麗人蔘製劑所

小供數名入用 但十五六歲の者希望 は本人來談あれ 仁川 仲買店

藥學生補缺募集 新學期開始補缺あり規則書左の藥舘に有 新井 山岸 北島 宮本 梅崎 和平堂 朝鮮藥學校敎習所

便利社 引越荷物及小荷物運搬速達信書配達諸廣告 電話二七八八番 本町 運搬部

事務員三名募集 算筆に堪能の者希望者は履歷書帶來談あれ 明治町一 日韓印刷所

礦物定量分析 太平町二丁目 朝鮮公論社左横小路入 坂元分析所

○中古ミシン買入 御用の方は電話又端書御一報次第參上 京城鍾路公園近 電二三三八 楠商店

……[illegible]……店、銀行若しくは呉服店、金銀…[illegible]…兵士全部長沙及び其附近の者のこととなり目下同所にある…[illegible]…在留日本人の家屋中に部下にして秩序なく暴行を…[illegible]…州に集まれるが…[illegible]…化して西部各地方に出沒するに…[illegible]…鬪爭の東洋に於ける根據地覆滅しふべきにあらず但だ我國の文…[illegible]…に保證し且つ所に日華銀行の發行す…[illegible]

杏の花＝けふのあたゝかさにはやく薄赤い瓣を吐き出した安東病院の杏＝

幾ら御馳走を食っても 運動不足では効果がない

都會の青年は弱々しいが 田舍の青年はぶくぶく武骨である

人間には一日二千八百の熱量が必要

桃李の花がパッと咲き揃ふて人と云ふ人が浮かれ廻る享樂の春は一年を通じて最も好い運動のシーズンである殊に野球テニス端艇競漕など屋外運動のシーズンである、山登りも好い遠足も良い——今更解り切った話ではあるが人間が生きて居る間は絶えず體內で

◇物質が分解 されて居る、譬ば蒸氣機關が動いて居る間は石炭が焚かれてある樣なものである、蒸氣機關の石炭は人間の食物で、食物を充分に攝取しなければ身體內部の諸機關が動かなくなる譯だ人間には一日普通二千七八百の

◇熱量が必要 で、それだけの熱量を攝取して適度の運動をして居れば身體の發達も良し食物の消化も良くて完全なる身體を作り出す事が能きるけれ共若しそれだけの營養上缺くべからざる熱量を攝取する事がなく運動が不充分であったら夫を害ふは解り切った事である、幾ら御馳走を食つてもぶら〳〵と運動を怠つて居ては

◇何の効果も ない運轉を中止して居れば機械の諸部分が錆付いて運轉が不可能となる、人間はそれと同樣である如上の注意を完全に行つたならば、血液の循環は良く呼吸も良く諸機關が鋭敏となる、即ち新陳代謝が盛んに行はれるのである

◇殊に青年に は體育といふ事は最も必要で一體凡ての食物衛生は最も必要で一體凡ての動物は平素使用不充分な部分は、漸次退化してゆく、極端な例ではあるが是からの人間が始終自動車などに乗つて得意然として足を使用しないで居ると終末には達磨のやうな人間ばかりになつて了ふであらう

◇都會の青年 はなよなよと優しく田舍の青年はぶくぶく武骨である、食物に依つて田舍と都會の青年の體質が左右せらるれば平素比較的美食をして居る都會の青年が體格が强健でなければならぬのであるがその通り實際は

◇夫と反比例 である、社會の戰鬪、世界の活舞臺に起つて活躍するには何うしても身體の健康に俟たなければならぬ（某醫學士談）

怨の遺書

▽愛兒を負ひ ▽位牌を懐に

若き妻須磨の浦に投身

八日午後八時半頃須磨町西須磨字西手漁業組合販賣所裏手の海岸より五つ許りの男の子を背負うて投身自殺を企てし年若き女あり、潤然と許り水音したるを前記販賣所に詰め合はせゐたる前田房吉同豊太郎新田乗吉等が聞き付けて直に附近の漁船を漕ぎ出し海岸十數間の沖合に浮きつ沈みつ苦悶せるを救助し一時人事不省に陷りゐたるを月見山病院に收容して手當を加へたる末母子とも

▽▲蘇生せ しめこの旨須磨分署に届出でたるが投身者は兵庫明和通二丁目二番の四永井松之助妻みつゑ（二一）又背負たる子供は長男忠雄（五）にてみつゑは懐中に遺書二通を所持しゐたり而して義姉の高野たけに宛たるものには唯一言「私が死んだら定めしお嬉しいでせうね」

▽▲祝をして下さい とありて夫の松之助に宛ては「長々の不實なこと許り申しました、これで御病氣が直るでせう、嘸嬉しいでせう、私等二人が死んだとて可愛さうなことはないでせう」と怨み言を述べ且つ殘る一通は武庫郡東明村濱田船井よし。同はな樣と認めしものにて即ち同人の妹に宛てある外別に

▽▲位牌一 基を所持しゐたり投身の原因につきては取調中なるが定めてこれには複雜なる仔細あるらしと（神戸）

視察團に 高麗餅を饗應す

文祿歸化鮮人の遺跡を 鹿兒島の歡迎

本社主催九州視察團は二十日夜鹿兒島著の豫定なるを以て同市にては二十一日正午より山下町鶴鳴館本店に於て

◆歡迎會を開く筈、席上橋本知事は縣勢一斑を紹介し歡迎の一室に文祿役縣下伊集院苗代川に歸化移住せる當年歸化鮮人の使用せる遺品を縱覽せしめ歸化鮮人の産土神なる

◆檀君の 繪葉書及び苗代川産の薩摩燒を贈り櫻島津公爵邸訪問の際高麗餅を饗する由なり

安東から釜山迄 爆藥を柳行李で送る曲者

不正漁業を助ける不正商賈

昨今は鯖の美味しい時季。京城の市場で賣捌かれてゐるものは八寸から一尺位のものが一尾三十五錢位に取扱はれてゐるが此の鯖も釜山を初め南鮮の沿岸が重な漁場となつてゐるが

▽この鯖漁 といふのが常に例の爆藥を使つて漁る不正漁業が行はれ勝のもので慶尚南北あたりでは官憲が眼を光らして爆藥漁業者を睨み廻してゐるのだ、是等不正の漁業に香皷を鳴らす手輩は大抵釜山の牧の島あたりから蔚山地方をあたりを

▽根據に定 めて巧みに出沒してゐる、しかし其の筋の取締りが嚴重を極め檢擧の手が嚴しいので年々其の數が減つて居るが、倘ほ根絶する迄には至らぬ、これはこの不正漁業者の後に爆藥供給の不正商賈が潜んでゐるからである而かも此の危險な爆發藥の多數を詰め込んだ

▽柳行李を 白晝大ピラ切つて安東縣から釜山迄汽車で輸送した不敵な曲者があつた、それは安東縣二番通り四番地居住の重岡秀槌（三六）と言ふ者で山口縣都濃郡大華村の生れ表面は殊勝らしく海産物商の招牌で世間や官憲の眼を誤魔化してゐるが昨年十二月十五日安東の支那町で張某といふ年齢四十歳位の支那人から

▽大形のダ イナマイト四百五十一本、雷管七百五十三個、導火線七十二尺とを二百六十圓餘りで買收し發覺を恐れて其の危險なものを三箇月間も自宅に匿まうて居つたがなか〳〵恐ろしい秘密の扱ひ物を處置するにしては

▽税關の目 を潜るが第一と先づ鴨綠江の解氷せない內にと三月十日の夜前記の爆藥類を悉く衣類に包み込んで大きな柳行李に納め。外から見た目に怪まるゝ所もなく搭載に件の行李を引つ擔がせて夜陰に鴨江線の上流へ、まだ解氷を乞行かね

▽氷上を徒 渉して新義州に出て税關の目を巧く免れ午後八時發新義州驛發の急行列車に行李と共に乗込南行して釜山に無事下車。件の柳行李をも難なく受け取り。先づ目指しとする不正漁業者の巣窟とも言ふべき

▽牧の島に 行き內偵の結果淺野龜太郎（五三）と言ふ其の道の玄人を知り早速事情を打明けて荷捌きすべく相談し、該漁業の盛んな蔚山より慶北の浦項、甘浦方面に逆手を撰げて內密に氣脈を通じ倍て荷物を小さな

▽漁船に積 み込み蔚山方面に向けて出帆した、かくて重岡は翌日の夕刻蔚山の亭子里沖に投錨し、まず前祝にと言ふので一人の船子を上陸させて附近の酒樓から濁山の

▽酒を買ひ 込み飲めよ唄への最中を巡廻中の巡査補が怪しと漁船に踏み込んで取調べて見れば驚くべき多量の爆藥類を積み込めるより啞然自はさず關係者を悉く逮捕し同時に爆藥は殘らず押收したが、早くも氣附いた曲者等は

▽爆藥の一 部を海に投げ棄てゝ居たと。流石の安東を脫出した重岡もこれが撲滅に全力を盡せる蔚山署長鈴木警部の苦々に達したる周密な警戒の網には敵し得ずと逮捕されたのである

父を尋ねて 濠洲へ

神戸居留地英商ギリングーと小田さと（二八）の間に生れたる須磨子（九）保久（六）は神戸にて母に死別れ絶えて消息なき父を尋ね可く十日午前四時神戸發にて遙々濠洲に向ひたり（神戸電報）

羅南の祝賀會

羅南野砲第二十五聯隊は十一日創立記念祝賀會を開催し擊劍馬術假裝、相撲等の餘興あり盛況を極めたり（羅南電報）

空自動車漢江に墜つ

ツヒ兩三日前のこと京城南大門通三丁目の廣橋自動車商會金相金所有の三十號自動車に運轉手林相賢が三四名のお客を乗せ龍山の人道鐵橋に月見に出掛け午後十時頃橋の袂に差しかゝると隣いた自動車の瓦斯燈が消えてゐるので運轉手の相賢は其の修理中にお客の一人なる三井物産支店の自動車運轉手李康德が一寸と機械に手を掛けると運轉手もお客も未だ乗つてゐない自動車が走り出したので皆々呆氣に取られてゐると自動車は三十間走つて高さ三丈ばかりある路傍から漢江の砂原に眞逆樣に墜落して滅茶々々に破壞した乗員が無かつたのは何より幸いであつたが李康德は其の中澤に件の自動車を相當代價で買受る事となつた

座談 進歩した原色版

勞力と費用さへ惜まなければ日本でも外國品に劣らぬ立派なものが出來る　寫眞家　高木背水氏談

「油繪、水彩畫、何んでも繪具を使用した原畫の面影を完全に傳へるには普通の寫眞版では面白くない、何うしても原色寫眞版に依らなければならぬが此唯一の原色寫眞版も日本の技術は從來極めて幼稚を極め外國で用ゐたものに比べると其間に雲泥の相違があつた、折角苦心して描き上げたものも一度原色版の手に懸ると丸でメチャ〳〵である、色もなければ調子もない原より原畫の面影なぞは何處を押しても見られぬ、泣き出し度くなる程情ないものであつた」

「ソレで日本では到底原畫の面影を彷彿と傳へる完全な原色寫眞版は出來ぬものと家併間でも諦めて居たが近來は此方面の技術も著しく進步して來た、原色寫眞版は原畫の色を赤青黄三色に分解して各色板を作り何度も何度も色を重ねて刷り合せるので其れに非常な技術を要するが近來其手際がメキ〳〵と進步して來たのである」

「自分は今度京城局の依囑で金剛山と牡丹臺、永興の虹門の油繪を原色版にした序でに[illegible]を當業者に詐へて見たが香ながら甚く好成績に出來上つた、最も大切な色さ云ひ調子が殆んど原畫其儘であるから外國で出來る原色版に比し決して遜色がないと思つて居る」

「尤も之だけにするには非常な努力と費用を掛けたが、要するに驚くべき技術の進步さ云はねばならぬ、日本では到底滿足な原色版は出來ぬものと絕望的の眼を以て見られて居たのは昔のこと、これで自分は日本でも努力と費用さへ惜まなければ外國品に劣らぬ立派なものが出來る程此方面の技術が進步して來たと云ふ事を證するだけの確信を得て了つたのである」

近年にない陽氣

へ＝晴天の日が多かつた　因三月　京城の氣象

北部朝鮮が[illegible]の影響に依って[illegible]三月は例年亞細亞大陸の[illegible]三月中の氣壓は七百六十二耗九で平年に比べると[illegible]低下して居るが、三月中の低氣壓は僅か七個に過ぎず…[illegible]

▽△縣高氣壓は前月末來大陸方面に[illegible]

▽△全月平均風速二米八秒 は平年に比し〇米七弱く昨年同月の風速と共に創業以來の最弱である…[illegible]…之を調つたが昨年及び平年に比し各一日多い…[illegible]

▽△平均氣温は四度五 昨年に比し一度五平年に比し一度八高く創業以來大正三年の五度三に亞ぐ高度である…[illegible]

▽△降水量三十耗四は 昨年並に平年の六割以上七分量に相當するに過ぎない…[illegible]

▽△快晴十日は從來の記錄に對比して頗る多かつた…[illegible]（京城測候所調査）

都山流演奏會

南山町二丁目に指南所を開き居れる都山流尺八師匠佐藤都令氏の主催にて來る十三日午後五時半より京城鍾路通青年會館（鍾路警察署隣）に於て都山流尺八春季演奏會を催す由なるがその演奏番組は左の如し

國歌、鶴の巣籠、千鳥の曲、本曲八千代、春の曲、越後獅子、本曲青海波、千鳥の曲、秋の曲の曲、菜の葉、本曲春風、ゆき、本曲若葉、琴古流尺八若菜、猿月

◎春風會素謠會 〔第〕世流春風會にては十四日午前九時より旭町白水に於いて素謠會を開く

えんげい

▲大正館 十二日より全部差替へ［illegible］日活最近の狀況全三卷、［illegible］劇飛行水鬼全五卷等に［illegible］

▲黄金館 十二日より新寫眞と差替ふる由にてこの外劇今日大八全三卷及び［illegible］

▲浪花館 浪花節［illegible］

▲壽座 ［illegible］

▲海鷗會の淨瑠璃大會 竹本奈良梅の［illegible］

▲十三日 ［illegible］

▲十四日 ［illegible］三味線竹本奈良梅

友助堂
京城南大門通一
電話二九七七番
振替一八九五番
金銀時計 眼鏡指環 各種取揃 賣り扱代 金川換に 應じ申候

萬年筆商 早川梅次郎 習里新町
右者當店名義を詐稱し頗る粗惡の萬年筆を持廻る由當店と何等の關係も無之に付此段謹告候也
京城旭町 東京パイン萬年筆京城製作所

代書 江原 電話三一七二 裁判所際

公告 京城府
一馬車費外壹點
右來四月十八日午前拾時入札

山陽電氣商會
電氣瓦斯機械器具 各種電線電球絶緣材料
京城黄金町二丁目電話一四二六
電燈、電力、電信、電話、電鈴、表示機、避雷針製造販賣

朝鮮總督府
一層紙幣ヶ年度斷約査定
右拂下ヶ詳細ハ四月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

本日より當館大提供の名映畫を是非見られよ 特に御子樣方の御觀覽を待つ
伊太利アンブロジオ社作 教訓劇 少年義勇隊 全二卷
天活會社新規大撮影 舊劇 樋口十郎左衛門 總會流元祖樋口武勇傳
米國カレム大會社々寶 大劇 怪 森の女神 全五卷 七千呎
本年三月淺草キネマ倶樂部封切り上場近來の珍品として滿都愛活家をヨロコバしたる此の艶麗比類無き映畫は、芝居か。忍術か。活動か。美術か。本寫眞を見られて後活動寫眞の權威を問へ

第二回特作品公開 壯烈鬼神も爲に泣く
軍國の神 乃木將軍 殉死の卷 筑前琵琶入
必ず見られよ實に美しき教訓資料
天活特約 黄金館

寫眞 具山崇撮影 寫眞銅版亞鉛版 京城日報社寫眞製版部

眼科專門
京城若草町 金井眼科醫院 電話一五五六

內科 小兒科
呼吸器病 胃腸病喘息 リユマチス
京城本町二丁目四十五番地 電話二八八〇番
山田病院 院主 山田萬作

精撰香油 かほ油
東京 本舗 非善製
大阪南久寶寺町四丁目 支店 藤森源之助

各種鑛物分析依賴 金銀精製に應ず 新礦見鑛區買入
京城旭町一丁目七 中村分析所 電話二〇七

花見にだんご 食後にゴルフ
ゴルフは「タカヂアスターゼ」を主藥とせる美味の健胃消化劑にして胃腸病、身體虛弱、病後衰弱、根氣なき人、結核患者に驚くべき卓効あり
定價 貳拾五錢 五拾錢 壹圓參拾錢
各地藥舗にあり
東京室町 泰昌製藥株式會社

◎治療實驗例無代進呈◎
磁氣應用 酸素療法
科學界の泰斗マイケル ファラデー氏發見唱導
オキシパサー
模品あり必ずオキシパサーの名を忘れ給ふな
効力永久にして器械代以外永遠に藥價其他の費用を不要
病敵敢て恐るゝに足らず絕大なる殺菌力を有する酸素は大中に無限に存在せり。而して此酸素はオキシパサーによりて幼者、病者、瀕死の衰弱者も容易に鼻、口及び全身の氣孔より吸收するを得べし。本器の諸病に卓効あることは今や世界の識者を驚嘆せしむるに至れり。殊に醫師の不便なる地方にありては家庭療器として、一器を備へんか以て自家一族を保護すべく進で隣保を安んずるを得ん。乞ふ即刻申込あれ。
◎定價金參拾八圓◎
東京丸の內
大日本オキシパサー商會
振替口座東京二三八二一番

櫻御殿

第百九十九回　大阪　霞の家主人

英雄の涙（六）

正則の日頃の氣象を知つて居るので、どれほど重い叱責を受けるかも知れないと道齋は思つて居た然も今の語は、熱鐵でなくて喜であつた、刄でなくて錦であつた『何と御意遊ばします』『命を捨てゝ恩に報うと云ふ、その詞が捨てられぬ、當時の人心、恩も義理も捨て、たゞ理のある處に走る者ばかり滿ち憂る中で、おぬしの身のやうな健氣者を家來に持つたわしは幸者ぢや、殊にお身は士でない、同朋ぢや、茶坊主ぢや、それが士にも稀な程、義を立てると聞いて、刄を當てる事がならうか、赦せ〳〵』道齋の手を戴くばかりにして云ふ、道齋は愈々意外であつた、餘りの事に涙さへ出ず、茫然と顔を見詰めた、正則は愈々張きつた聲で『お身は命は赦す、同時に濟之丞の罪も赦す、珍齋案內せい、今から隅櫓へ參る』珍齋も闇の中から、明い路が開けた程の不思議を感じた、而し主命ではあり、日頃世話になる道齋の命が助かるばかりでなく、この恩人たる濟之丞の重い罪科さへも赦されると聞いては、躊躇する隙もなく先に立つた、正則の袖松火が、紹々と光る、道齋は夢路を辿るが如く後ろに從く隅櫓の入口には、例の番人が淋しさうに番をしてゐた、珍齋は一間ばかり走りぬけて『番の衆、御前のお成ぢや』と叫んだ『わゝ』と一統が自分の耳を儼せぬやうに問ひ返す『御前のお成ぢや、大殿樣のお成ぢや、お出迎へ〳〵』と再びいふその隙もなく正則の袖松火は近づいて、番人の眼には神とも見え、又鬼とも見ゆる髭面が目の前に現はれた、一統ピタリと這蹲ふ『戸を開けい』入口の戸を開けれ濟之丞に用あつて參つた、濟之丞はその聲を奥で聞くと、これも夢か、と思ふやうに飛上つた、此世では再び逢ふとも叶ふまじく思つた恩ある主公が、わざ〳〵この座敷牢を訪ねられやうとは、實に意外な惠みである、假しその御手にて我が首を打落したまふ白刄をひつ下げるたまふとも、そのまゝ御足の底に踏にじられて死果つるとも露怨みに思ふところはない、唯一目お目にかゝれば、それが望外の喜びである、と心に思ふ折柄、入口の戸がガラ〳〵と開かれる、そこへ袖松火の光りがさす、珍齋は事態捨置くべき事ではないと思つたのでその間に廣敷へ大殿隅櫓へ御成の旨注進した『濟之丞〳〵』正則は大きな聲で呼んだ『ハハッ』濟之丞はその聲がどうしてこの口から出たかを辨へる餘裕さへなく、すべり出て、正則の突立つてゐる足元へ平伏した、嬉し涙を流したやうに暗い座敷牢の床の上へ主從の情義が流れる『濟之丞〳〵』正則は再び呼んで『顔を上げい』『ハツ、ハツ』と濟之丞は顔を上げる、その上へ袖松火が明星の如く照る、後にひかへた道齋は、そうして正則と濟之丞とが顔を見合せ暫く無言でゐるのを見るうちに堪へ切れぬ如く泣き出した『長く其方を苦しめたが、今日只今罪を赦す、これは道齋の情義に厚いのを感じるからである、道齋は清洲の城內で、其方に助けられた恩義を忘れず、身を捨て、家を捨て、命を捨てゝ其方の命を一日半日でも先へ延ばさうと企てた、その心は百萬石にも代へられない、道齋の同朋を友に持つた其方の罪をも赦す、左樣心得ろ』折柄提灯、雪洞幾十となく灯しつらねて多くの家臣がぞや〳〵とやつて來た

洋料理　すき燒　おいしい事は京城第一との高評を博し居り候　南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

新時代小說豫告

花吹雪　大阪　中谷青霞

大阪霞の家主人の小說『櫻御殿』は第二百回を以て完結するにつき次で新たに連載さるゝ新時代小說は中谷青霞氏の作にして、江戸の華と云はるゝ吉原の戀の達引に町奴と共に旗本の次男が落花狼藉の横行にも一遊女が松の操は破られず、同僚の旗本と武道の意地より思はぬ兩家の確執となり、詐略葛藤家臣の爭奪敵の捜索或は僧侶の鬪爭、叔姪の邂逅或は町奴が切腹、旗本の出家等遊女を中心に描んで波瀾重疊宛がら活動寫眞を見るが如く讀者は手に汗して事件の進行を送迎に暇なからん、乞ふ愛讀を給へ

謹告

先般來某實業家ノ招聘ニ依リ東京出張中ノ處九日歸堂致候ニ付此段謹告仕候

大正七年四月十一日　明治町二丁目　介石堂主　岡村介石

讀者の領分

▲私立學校規則を是非見たいと思ひます何年何月幾日總督府令第何號でございませうか、御存じでしたらどなたか本欄まで御示し願へませんでせうか（普通學校生）▲京城府內の收入印紙賣捌人が收入印紙の割引取扱をなす [illegible]

綿絲激落事情

四百九圓七十五錢と高値に發會し [illegible] 錢と新市當時に比し三十圓乃至三十圓五十錢方の激落を告げたり [illegible] 稍狂熱的色彩を帶び原棉の騰落に [illegible] して買叩きたるに因るもの、如く [illegible] 即ち棉花の昂騰に伴ふ綿絲の暴騰 [illegible] 示し [illegible]

▲二千六十一梱の增加を [illegible] ざたる關係に因ると傳へらる [illegible] て原棉の成行を觀察するに九、十 [illegible] 第三百九十圓以下は會社の堪へざ [illegible] て會社は安値にて先約に應ずるや否やは疑問なり又內地 [illegible] 一面會社の現在 [illegible]

最新刊

書名	著者	價
大正七年 鑛區一覽	朝鮮總督府編	定價七十錢
草書要鑑	書道及畫道社編	二〇〇
醉中一瀾 講話	釋宗演	一五〇
小資本大資本 最近運川の秘訣	吉原宿三郎	八五
戰前の外交と戰後の政策	若林半太郎	一二〇
內鮮為替實務	誌水淳	二〇
朝鮮司法警察法規集	藤沼武男	一〇〇
詩集 ふる郷	有本芳水	六〇
大正六年一月現在 朝鮮總督府及所屬官署 職員錄		定價六十五錢
合併府店に必要なる 商孔釋	六湊	九五
南シベリア 將來の經濟	松尾末藏	一二〇
第二闘歩 集	國木田獨歩	六五
子規名句集	俳句研究會	七五
川柳江戸砂子	今井卯木	二〇
改定五版 朝鮮商業撮要	古城・共著	八〇
朝鮮總督府編 金剛山植物調査書		定價四圓

大阪屋號　京城本町　電話六八四　振替京城二〇八六　二五七三

百圓進呈　りん病　ばい毒　藥

淋病藥主藥は治麻劑とし梅毒主藥は驅梅內服藥とし醫藥學上最有効と確定し帝國醫料大學院病專門にて實驗配劑せる高專藥ある事を保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は御申請次第百圓進呈

あらゆる治療を試みし方に告ぐ

にせ物に注意あれ　東京其他各地に多し

大阪有田ドラッグ商會

京城南大門外停車場通　有田ドラッグ商會滿鮮本部

京城黃金町三丁目　釜山大廳町二丁目　元山本町三丁目

其他の藥店に販賣不許

京城　南大門外停車場通　大阪　ドラッグ商會

花の前で……

婦人良藥 中將湯式……

健康美を誇つて下さい！

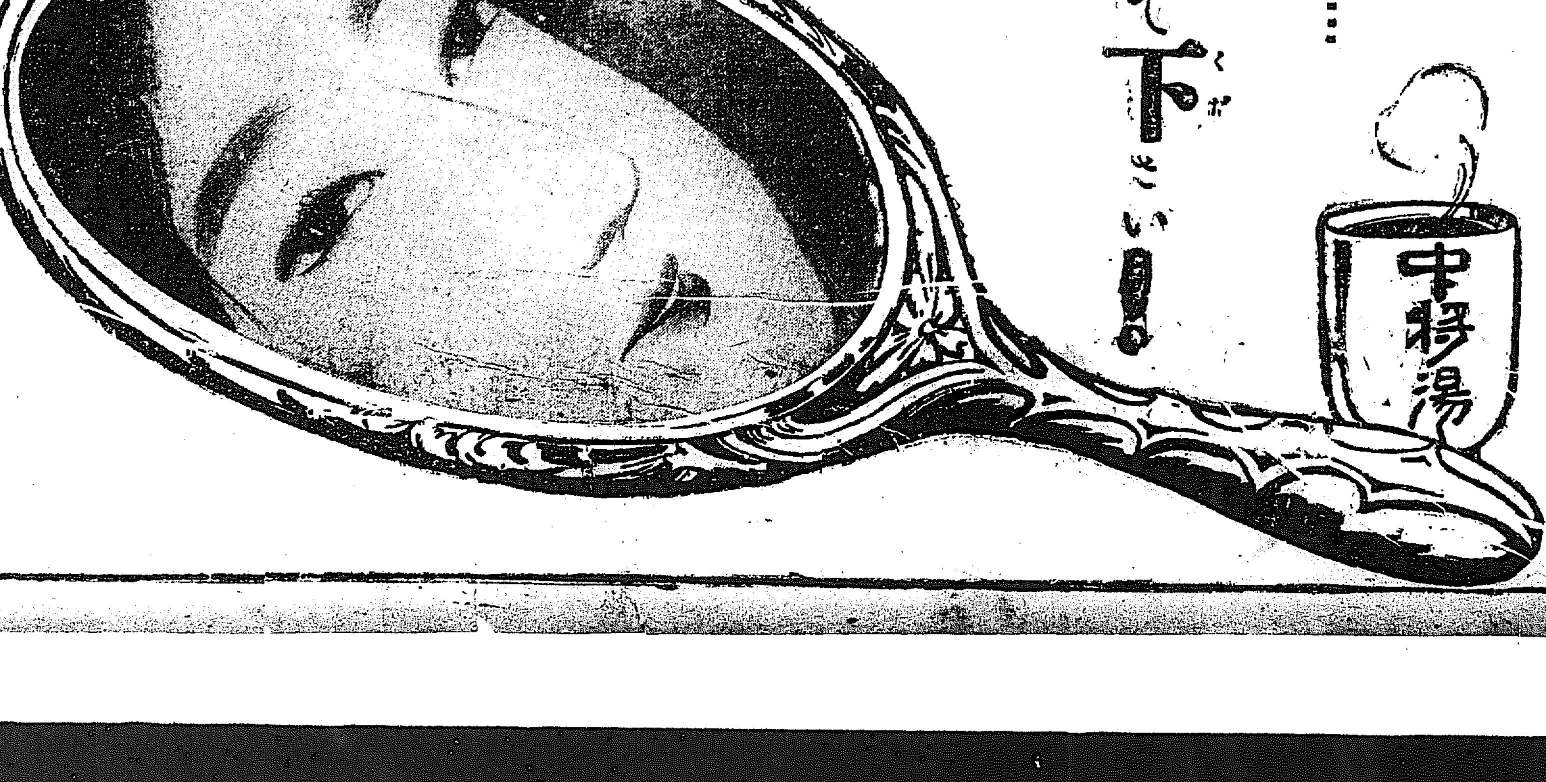
櫻色は？

美は女の生命です。御化粧は女の身嗜です。一日も忘れてはならぬ日課です。けれどもイクラ化粧液を附けても白粉を塗つても得られぬのは、櫻色の自然美でございます若し頬紅で櫻色を粧られたならば、それは造花の美でございます。しかし中將湯を平素愛用さるゝ婦人病のない健康な御婦人のお顔には、四時櫻色の自然美が輝いて居ります

子宮病の血の道

博士學士が

中將湯の偉効を實驗證明された例は、全國有名大醫三千有餘名に及び、實驗者よりの感謝狀は毎日各地より山の如くに集ります。しかし本劑はこれらを麗々しく掲ける必要がありません。中將湯の偉効は毎日〳〵全國數百萬の愛用者方が實驗して居られます、素晴しい中將湯の實行が卓越せる藥効を立派に證明して居ります、何んと云つてもクスリの眞価は効驗です。



主治効能

●子宮病 ●癇高ぶり ●月經滯り ●血の道 ●つはり ●眩加答兒 ●逆上頭痛 ●こしけ ●腰足冷込 ●下腹痛 ●產前產後 ●內膜炎 ●夜眠れず ●血ぶこり ●婦人神經 ●難產流產 ●氣ふさぎ ●月經不順

（定價）

二日分	二十五錢
四日分	五十錢
一週分	八十錢
二週分	一圓六十錢
三週分	二圓二十錢
五週分	三圓二十錢
一週間	壹圓
三週間	二圓七十錢

●加減藥あり容態詳しく申し込みあれ

中將湯

東京市日本橋區通四丁目　津村順天堂本店　電話本局六二・六三　振替東京六〇八番

大阪市東區大寶寺町　津村順天堂支店　電話南二二五　振替大阪四五八番

▼中將湯はドコの藥屋にもあります市內配達無料です